

The image displays the 'analogous_demo' project in the 'DIT10' software. The interface is divided into several sections:

- File Explorer (Left):** Shows the project structure, including files like 'main.c', 'key.c', 'LedSwitch.c', 'PwmSwitch.c', and 'UserMain.c'.
- Code Editor (Center):** Displays C++ code for the 'main' function, including variable declarations and function calls like 'keyTask', 'LedSwitchTask', and 'PwmSwitchTask'.
- Variable Declaration Window (Top Right):** Shows a table of variables and their types, such as 'key' (uint8_t), 'switch' (uint8_t), 'LedSwitch' (uint8_t), and 'PwmSwitch' (uint8_t).
- Table (Bottom):** Lists system components and their configurations. The table has columns for 'No.', 'Component', 'Source', 'Task', and 'Step'.

The 3D model of the 'Dynamic Tracer' hardware device is shown on the right, featuring a black casing with a silver front panel and a red LED indicator.

URL: <http://www.hldc.co.jp>

本マニュアルについて

- 本マニュアルは、『DT10(ディーティーテン)』アプリケーションのインストール 及び ライセンスのセットアップについて説明されております。
- 本プログラム及び説明書は、著作権法で保護されており、弊社の文書による許可がない限り、複製、転載、改変など一切できません。
- 本製品の内容及び仕様は、予告なしに変更されることがあります。
- 本製品は、万全の注意を払って作成されておりますが、ご利用になった結果については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名及びロゴ、製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

目次

1. DT10 のインストール	- 1 -
1.1. サポートプラットフォーム	- 1 -
1.1.1. 日本語版オペレーティングシステム	- 1 -
1.1.2. コンピュータ本体	- 1 -
1.1.3. メモリ	- 1 -
1.1.4. ハードディスク	- 1 -
1.1.5. ディスプレイ	- 2 -
1.2. インストールの手順	- 2 -
1.3. アプリケーションのセットアップ【32bitOS】	- 3 -
1.3.1. 前提条件の確認とインストール	- 3 -
1.3.2. アプリケーションと各ツールのインストール	- 5 -
1.4. アプリケーションのセットアップ【64bitOS】	- 10 -
1.4.1. 前提条件の確認とインストール	- 10 -
1.4.2. アプリケーションと各ツールのインストール	- 12 -
1.5. DynamicTracer の USB デバイスドライバのセットアップ(Windows7 の場合)	- 17 -
1.6. DynamicTracer の USB ドライバのセットアップ(Windows8/8.1,Windows10 の場合)	- 21 -
1.7. DT10 のインストールに関するトラブルシューティング	- 22 -
1.8. DT10 のアンインストール	- 28 -
1.8.1. 「プログラムの追加と削除」からのアンインストール	- 28 -
1.8.2. 「setup.exe」からアンインストール	- 28 -
1.8.3. 「DT10 Uninstaller」からアンインストール	- 29 -
2. USB ドングルライセンスのセットアップ	- 30 -
2.1. USB ドングルライセンスのセットアップ	- 30 -
2.1.1. ランタイムのインストール	- 30 -
2.1.2. USB ドングルをマシンに接続する	- 30 -
2.1.3. ライセンシングの確認	- 31 -
2.2. USB ドングルライセンスの更新	- 32 -
2.2.1. V2C ファイルの更新	- 32 -
2.2.2. ライセンシングの確認	- 33 -
2.2.3. C2V ファイルの生成	- 33 -
2.3. USB ドングルライセンスに関するトラブルシューティング	- 34 -
3. 変更履歴	- 35 -

1. DT10 のインストール

本章では、DT10(ディーティーテン)アプリケーションをインストールする為の準備、及びインストール方法について説明します。

1.1. サポートプラットフォーム

DT10 及び DT10 が有する各ツールがサポートするプラットフォームは次の通りです。

1.1.1. 日本語版オペレーティングシステム

- ・ Windows 7
- ・ Windows 8/8.1
- ・ Windows 10

※32bit 版・64bit 版にそれぞれ対応しています。

※WindowsInstaller3.1 及び Microsoft.NET Framework2.0 以上がインストールされていること

(未インストールの PC にはセットアップできません。その場合、Windows Update を実施してインストールしてください)

1.1.2. コンピュータ本体

- ・ PC/AT 互換機のみ
- ・ Pentium4 2GHz 相当以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータが必要
- ・ 2CPU 以上のシステムを推奨
- ・ Hi-Speed 転送に対応した USB2.0 ポートが利用可能であること(USB1.0 には対応しておりません)

1.1.3. メモリ

- ・ 1GB 以上の実装メモリが必要
- ・ 2GB 以上の実装メモリを推奨

1.1.4. ハードディスク

- ・ DT10 のインストールには、100MB 以上の空き容量が必要
 - ・ テストレポート解析には 2GB 以上の空き容量が必要
- また、テストレポート収集に別途 1GB 以上の空き容量が必要

1.1.5. ディスプレイ

- ・ ディスプレイ解像度 XGA(1024 x 768 ピクセル)以上が必要
- ・ ディスプレイ解像度 WXGA+(1440 x 900 ピクセル)以上を推奨
- ・ ディスプレイの文字サイズは既定値、または標準サイズでご使用ください

 注意	インストールには、管理者権限が必須になります。 管理者権限を持ったユーザーで、インストールを実行してください。
	インストールしたアプリケーションは、管理者権限がないユーザーでも使用可能です。

1.2. インストールの手順

DT10 アプリケーションを Windows マシン(以下、マシンと省略します)にインストールするには、次の手順に従ってください。

なお、アプリケーションのインストーラーについては、弊社サポートサイトからダウンロードをしていただくか、弊社が提供する CD-ROM 内にあるインストーラーをご使用ください。

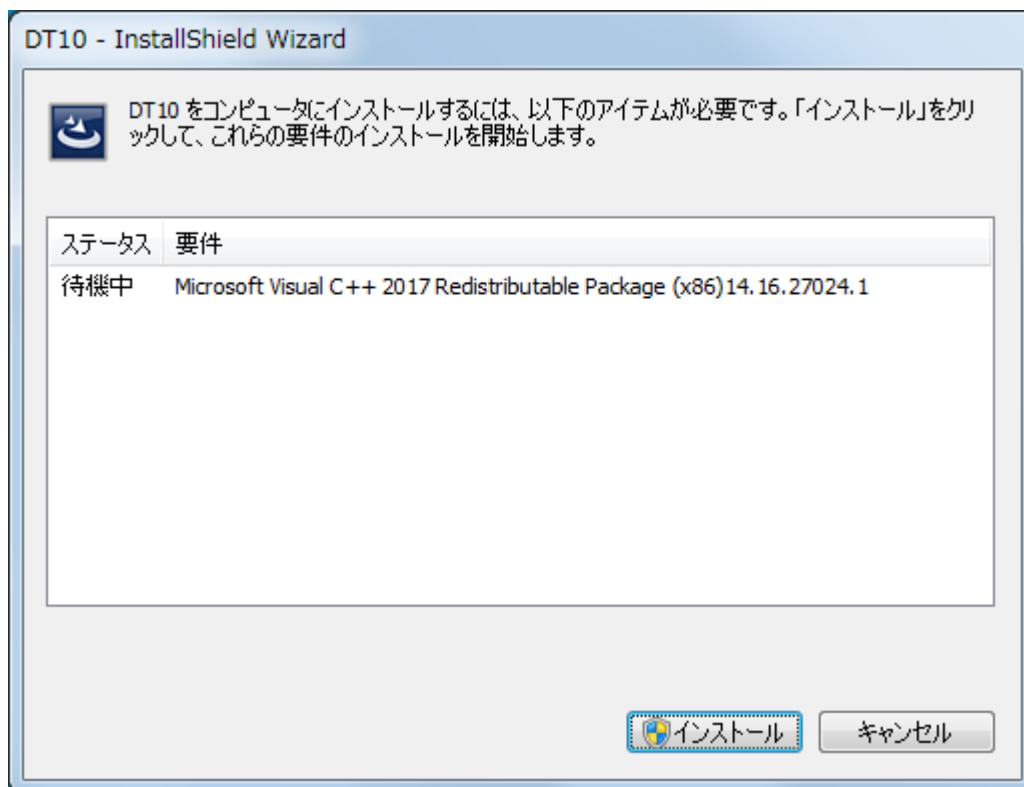
1. マシンに USB ドングル、DynamicTracer が接続されていない事を確認してください。
2. ダウンロードしたセットアップファイルの中から、『setup.exe』を実行してください。
3. 他の実行しているソフトなどは終了し、バックグラウンドで動作しているウイルス対策ソフトなども OFF にして、安定した環境で実行されることを推奨します。画面の指示に従って、インストールを実施します。
4. インストール完了後、DT10 アプリケーションを起動してください。
 ※この段階で、ライセンスがセットアップされていない。もしくは、ライセンスが無効な場合は、「FreeEdition」で起動します。
 ライセンスが有効な場合は、「Standerd Editon」で起動します。
 各ライセンスのセットアップ方法については、後述の別章で説明します。
5. DynamicTracer 本体に、電源を入れて、付属の USB ケーブルでマシンと接続してください。
6. DynamicTracer の USB デバイスドライバをマシンにインストールしてください。
 ※USB デバイスドライバのインストール方法は、後述の別章で説明します。

1.3. アプリケーションのセットアップ【32bitOS】

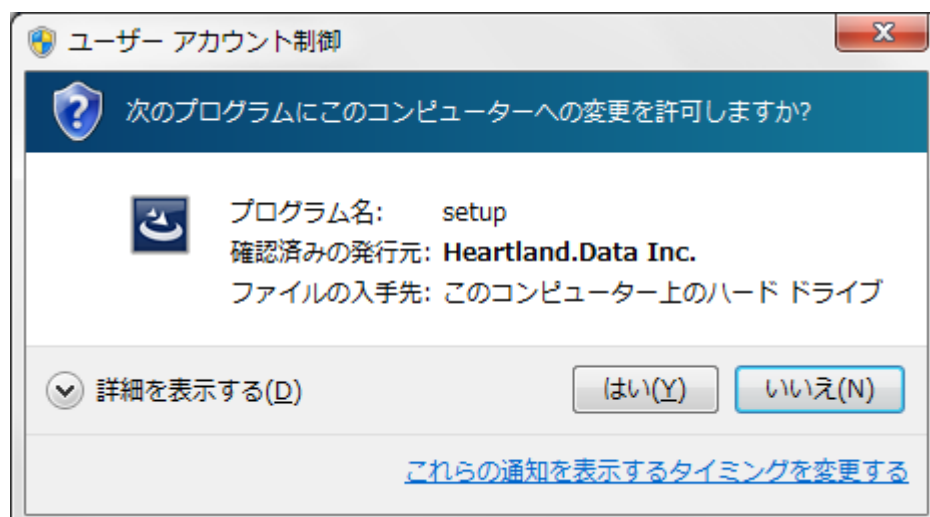
『setup.exe』を実行すると、DT10 アプリケーションと必要ファイルのインストールが始まります。以下の手順に従いセットアップを完了させてください。

1.3.1. 前提条件の確認とインストール

『setup.exe』を実行した際、『Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable Package(x86)』がインストールされていない場合、下記画面が表示されます。インストール済みの場合は、表示されず、次の項目に飛びます。

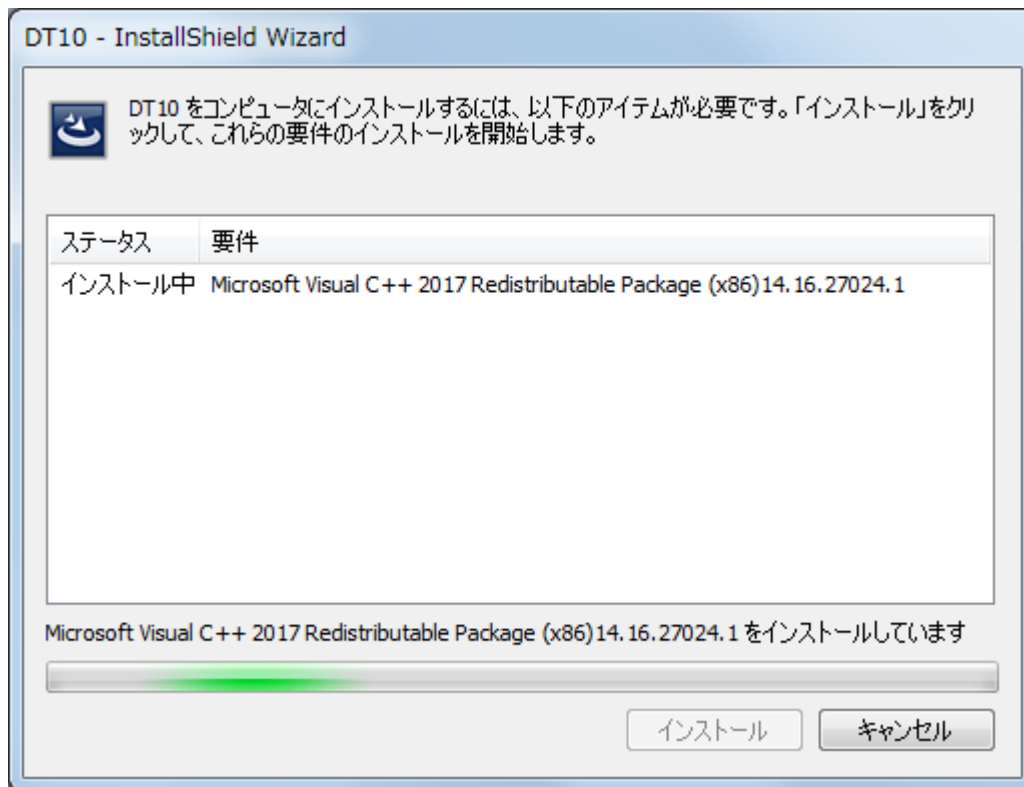


「インストール」ボタンをクリックすると、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。



発行元を確認し、「はい」をクリックすると、インストールが開始されます。

Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable がインストールされます。



インストールには、マシンによって数分かかる場合があります。

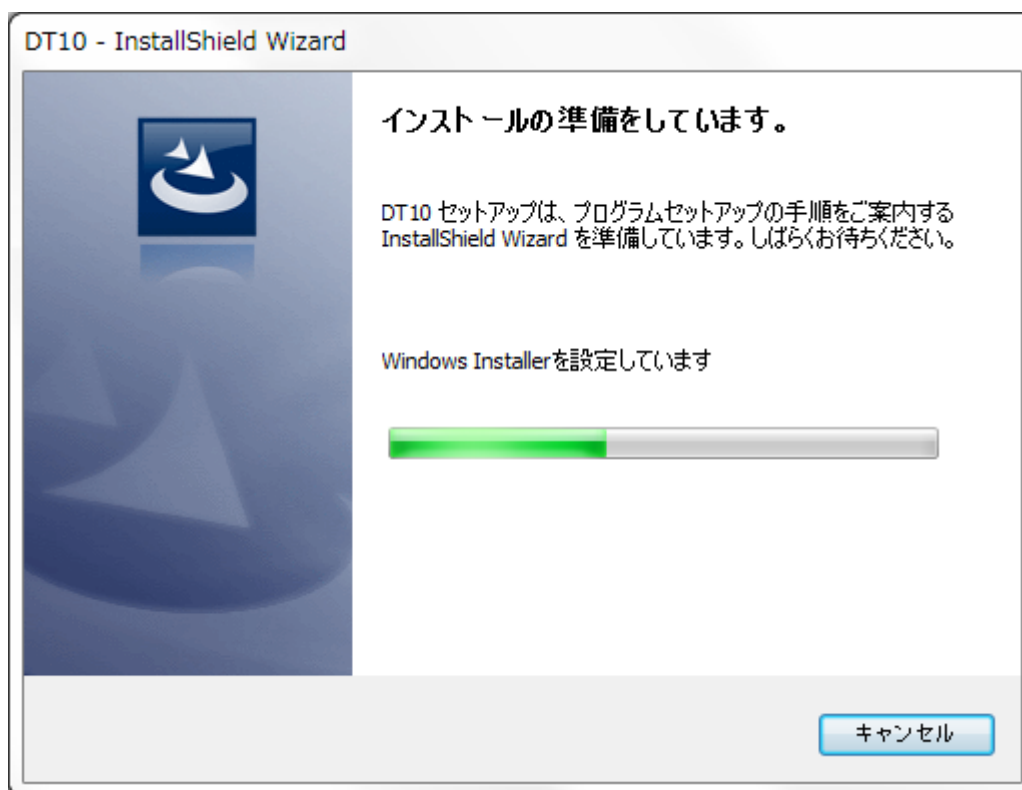
インストールが完了すると、続いて DT10 アプリケーションのインストールが開始されます。

ただし、マシンの環境によっては、ここで再起動を促される場合があります。

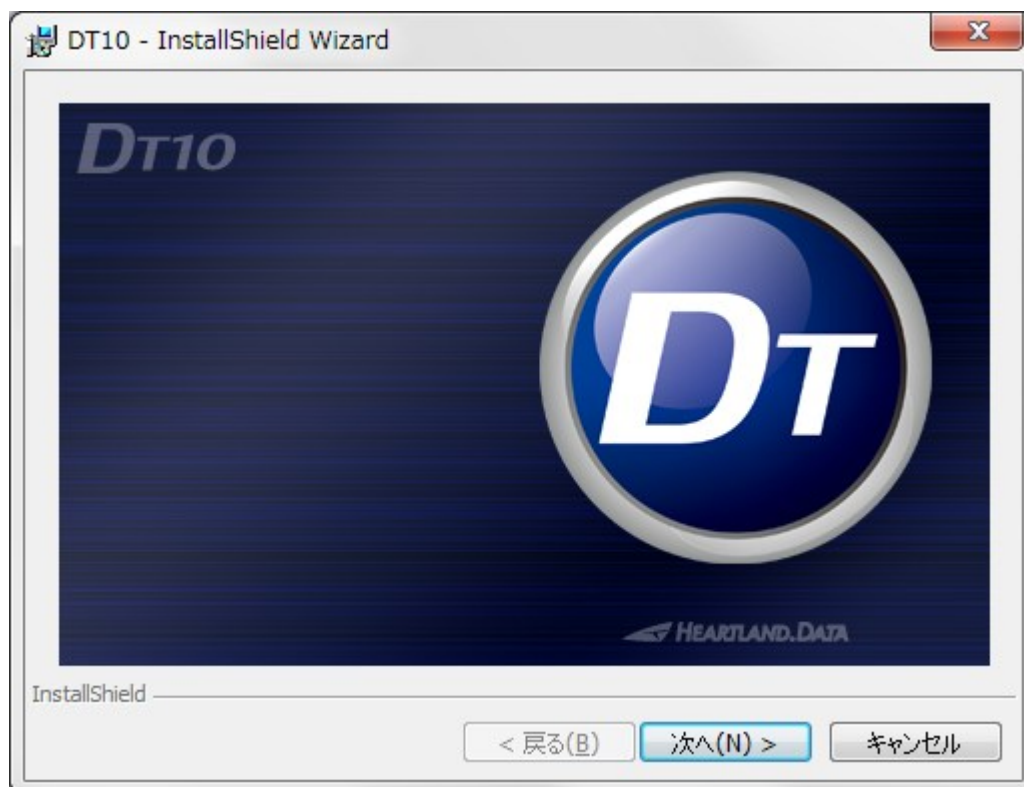
その場合、ここでは再起動はせずに、「いいえ」を選択してインストール作業を続行してください。DT10 セットアップ作業が完了しましたら、手動で再起動してください。

1.3.2. アプリケーションと各 ツールのインストール

DT10 セットアップを開始すると、セットアップファイルの展開を行います。

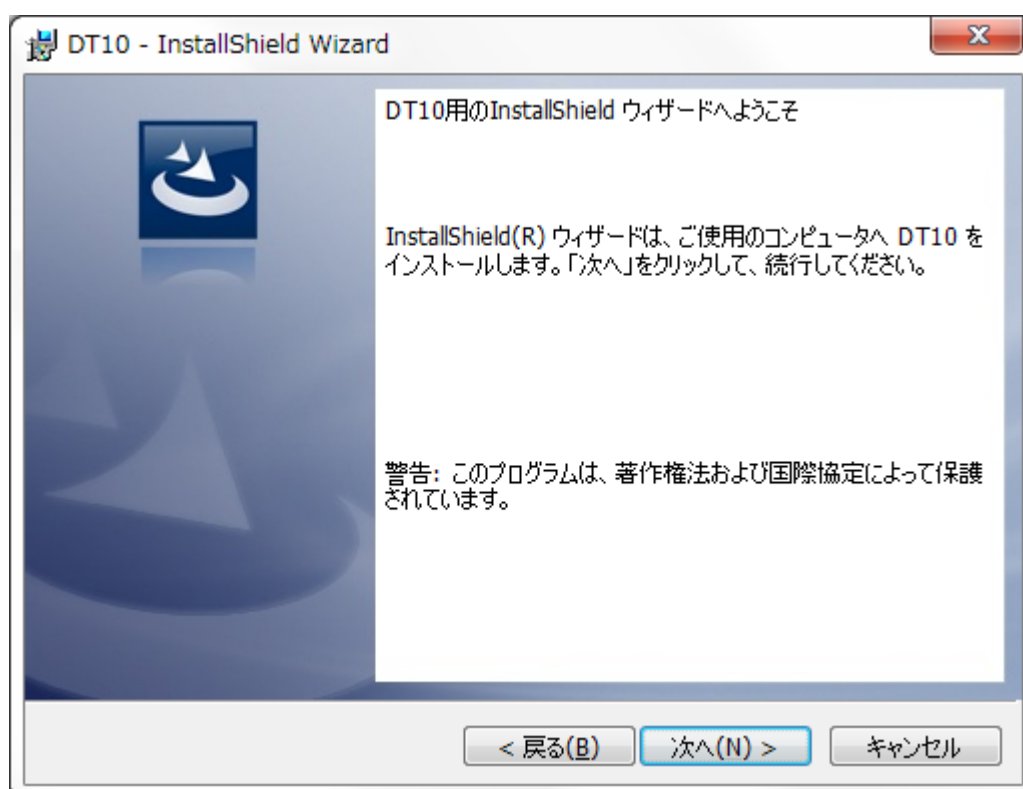


展開が完了し、インストール準備が整うと、スプラッシュ画面が表示されます。



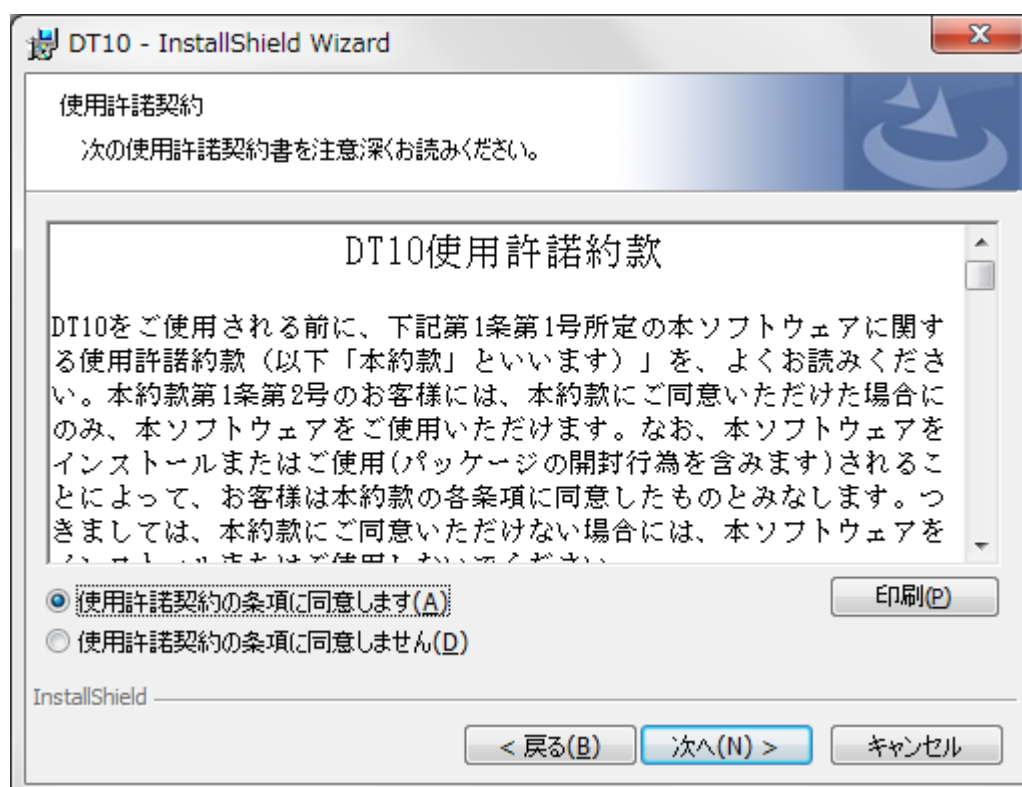
「次へ」をクリックします。

「ようこそ」画面が表示されます。



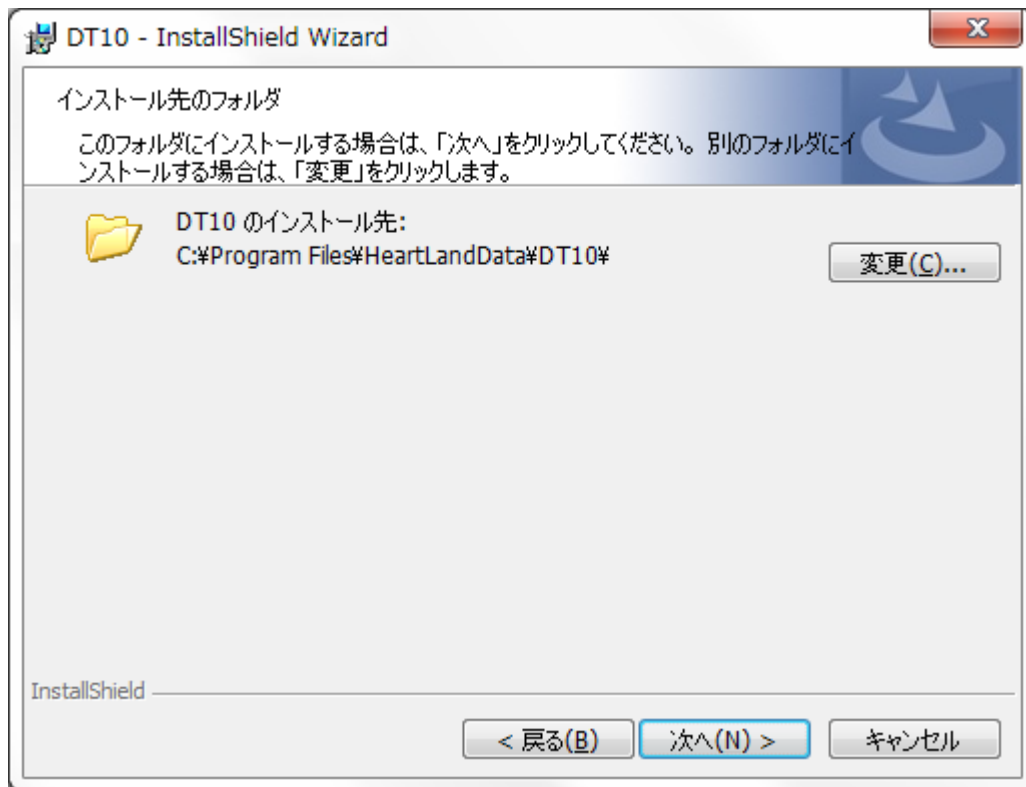
「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約」画面が表示されます。



使用許諾契約書を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。

「インストール先のフォルダ」画面が表示されます。

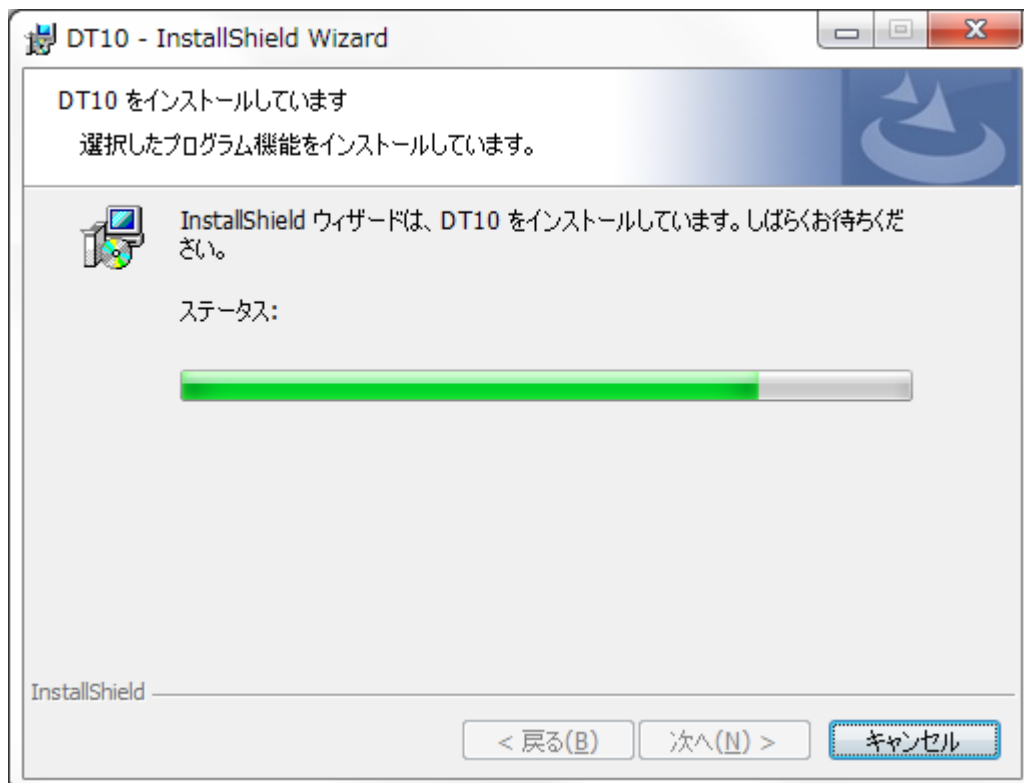


デフォルトのインストール先は、『[Program Files Path]HeartLandData¥DT10』となります。[Program Files Path]はマシンに依存します（起動 OS のドライブ名等）。指定フォルダを変更する場合、「変更」ボタンをクリックしてフォルダを指定してください。インストール先が決まりましたら、「次へ」をクリックします。

「インストール準備完了」画面が表示されます。



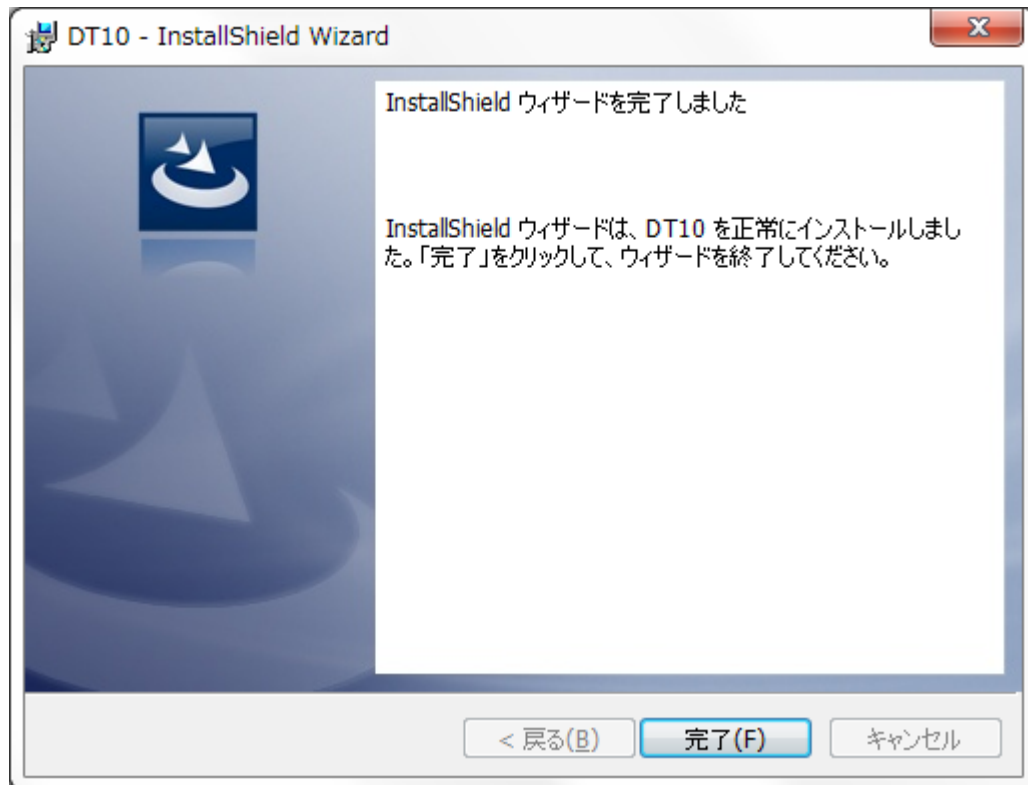
ここまでで設定した内容でインストールを開始してもよろしければ、「インストール」ボタンをクリックしてください。



インストール時間はマシンの状態などに大きく依存します。

数秒～数分かかります。

DT10 が正常にインストールされると、以下の画面が表示されます。



「完了」ボタンをクリックして、セットアップを終了してください。

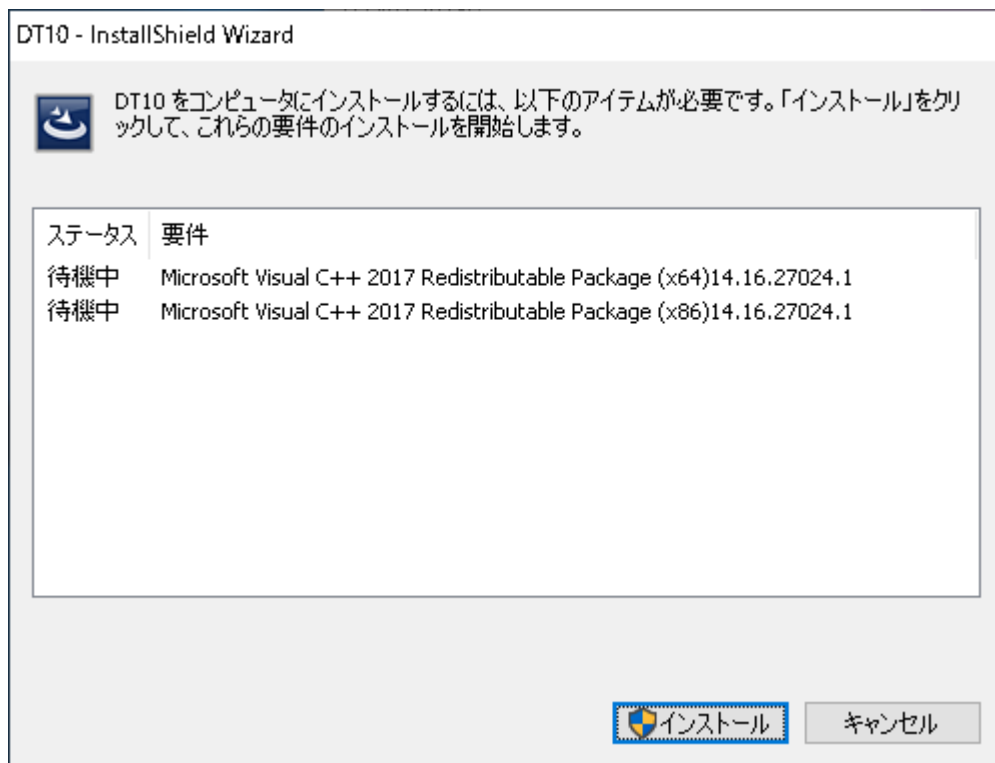
1.4. アプリケーションのセットアップ【64bitOS】

『setup.exe』を実行すると、DT10 アプリケーションと必要ファイルのインストールが始まります。以下の手順に従いセットアップを完了させてください。

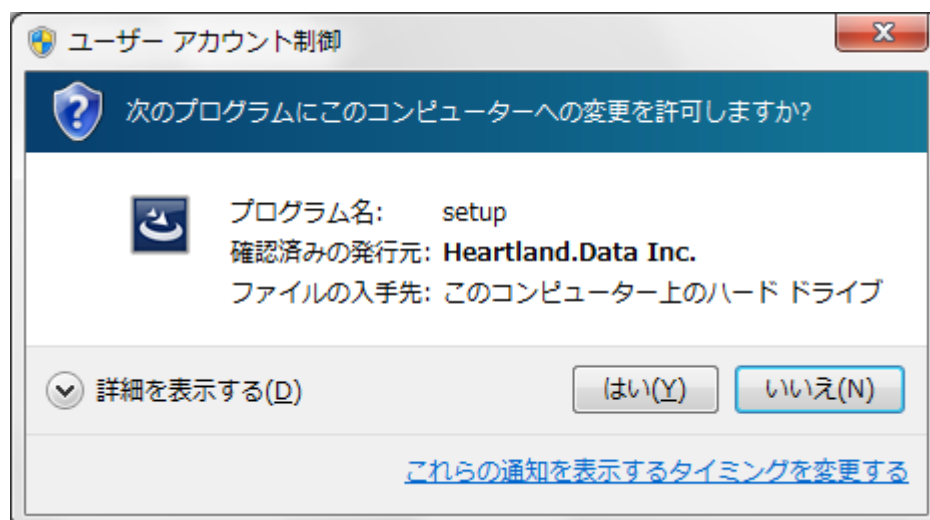
1.4.1. 前提条件の確認とインストール

『setup.exe』を実行した際、下記画面が表示されます。

『Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable Package(x64)』と『Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable Package(x86)』のインストールを行います。

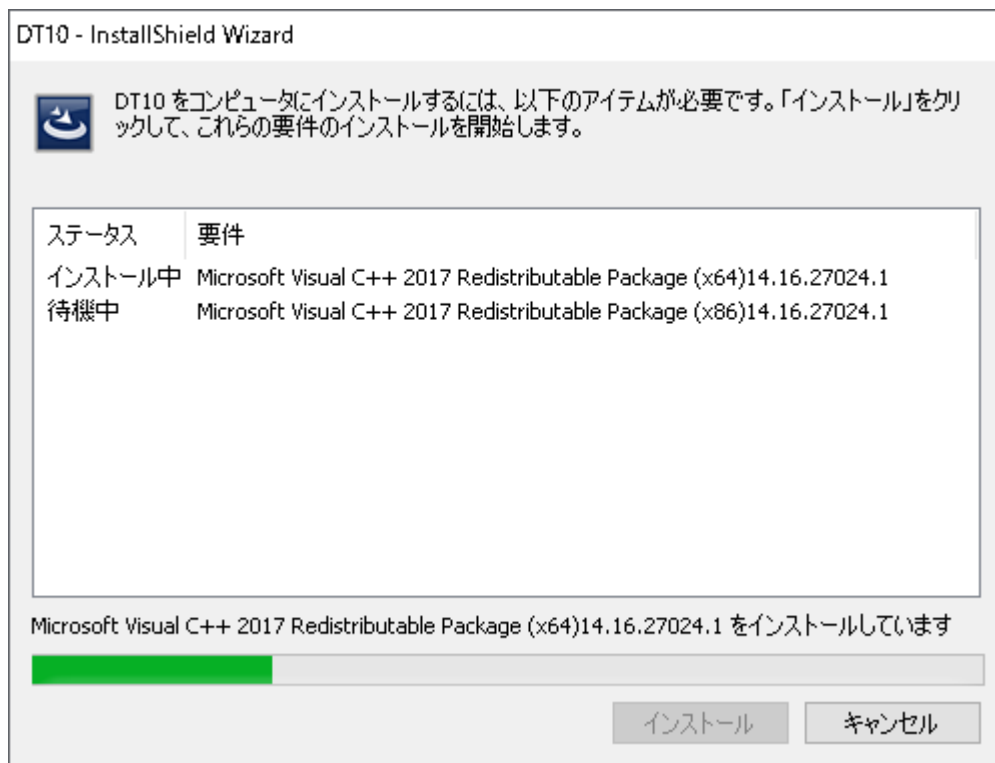


「インストール」ボタンをクリックすると、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。



発行元を確認し、「はい」をクリックすると、インストールが始まります。

Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable がインストールされます。



インストールには、マシンによって数分かかる場合もあります。

インストールが完了すると、続いて DT10 アプリケーションのインストールが開始されます。

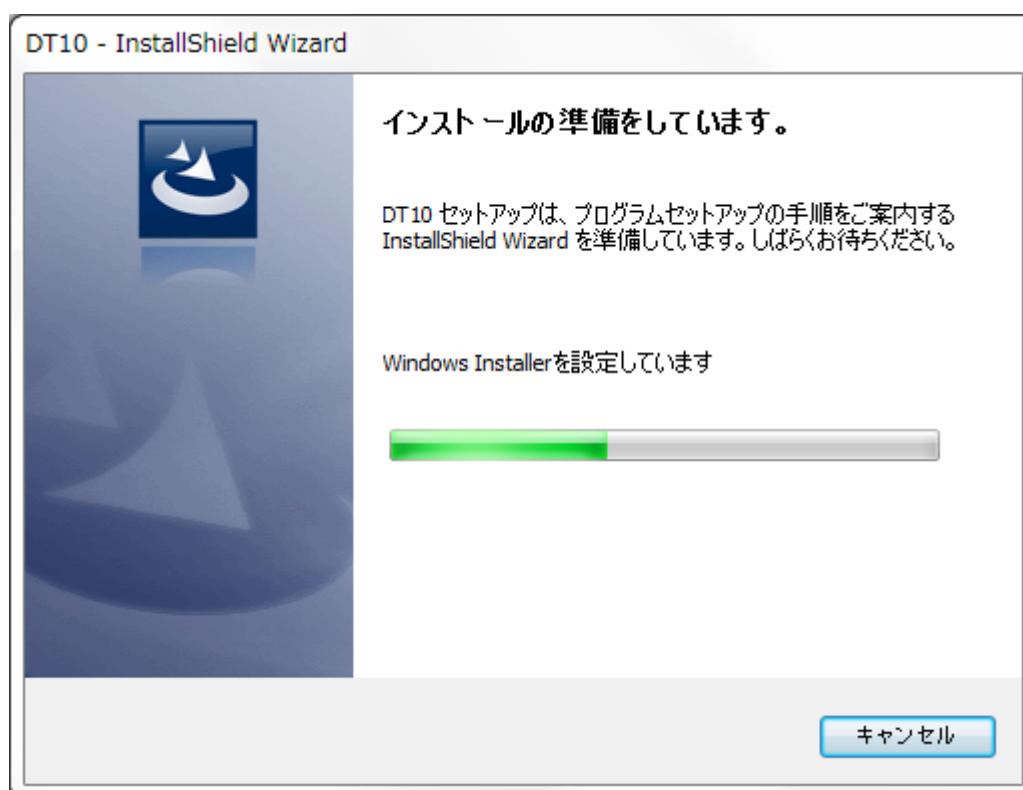
ただし、マシンの環境によっては、ここで再起動を促される場合があります。

その場合、ここでは再起動はせずに、「いいえ」を選択してインストール作業を続行してください。

DT10 セットアップ作業が完了しましたら、手動で再起動してください。

1.4.2. アプリケーションと各 ツールのインストール

DT10 セットアップを開始すると、セットアップファイルの展開を行います。

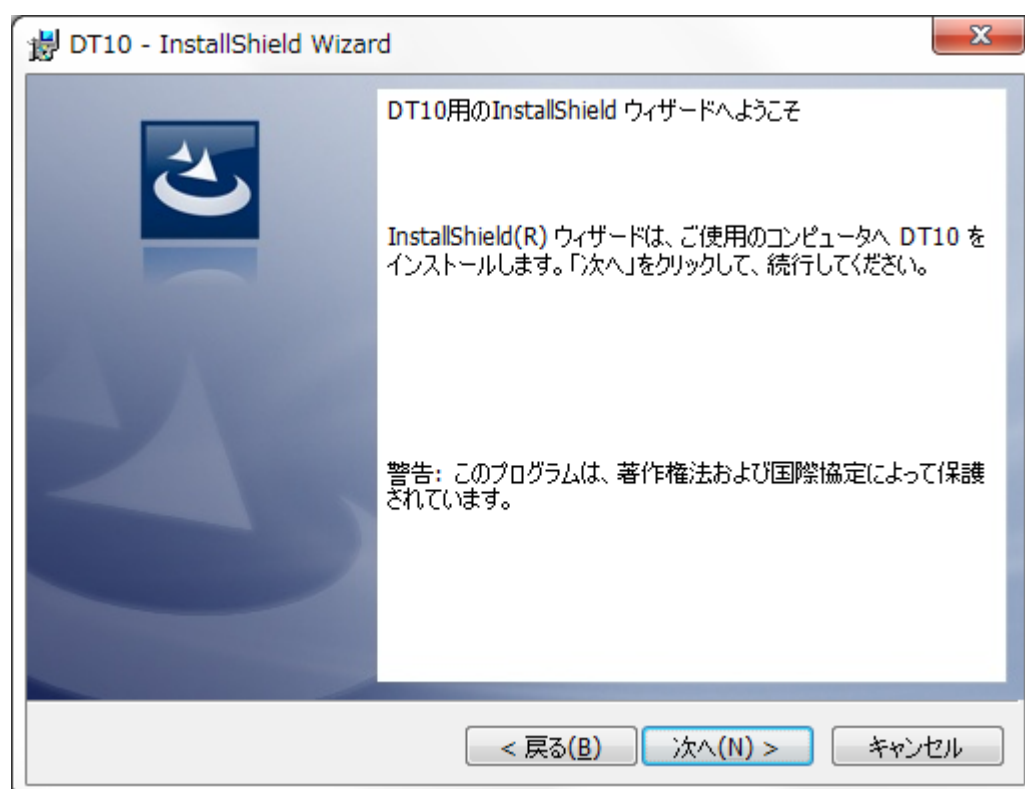


展開が完了し、インストール準備が整うと、スプラッシュ画面が表示されます。



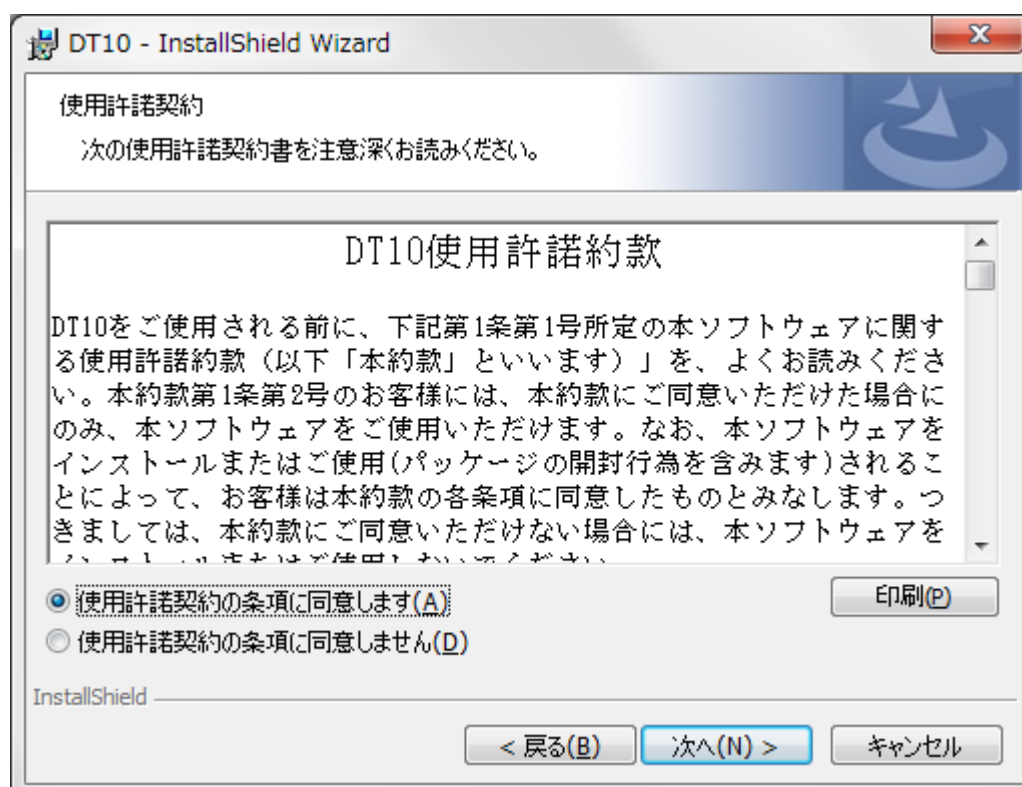
「次へ」をクリックします。

「ようこそ」画面が表示されます。



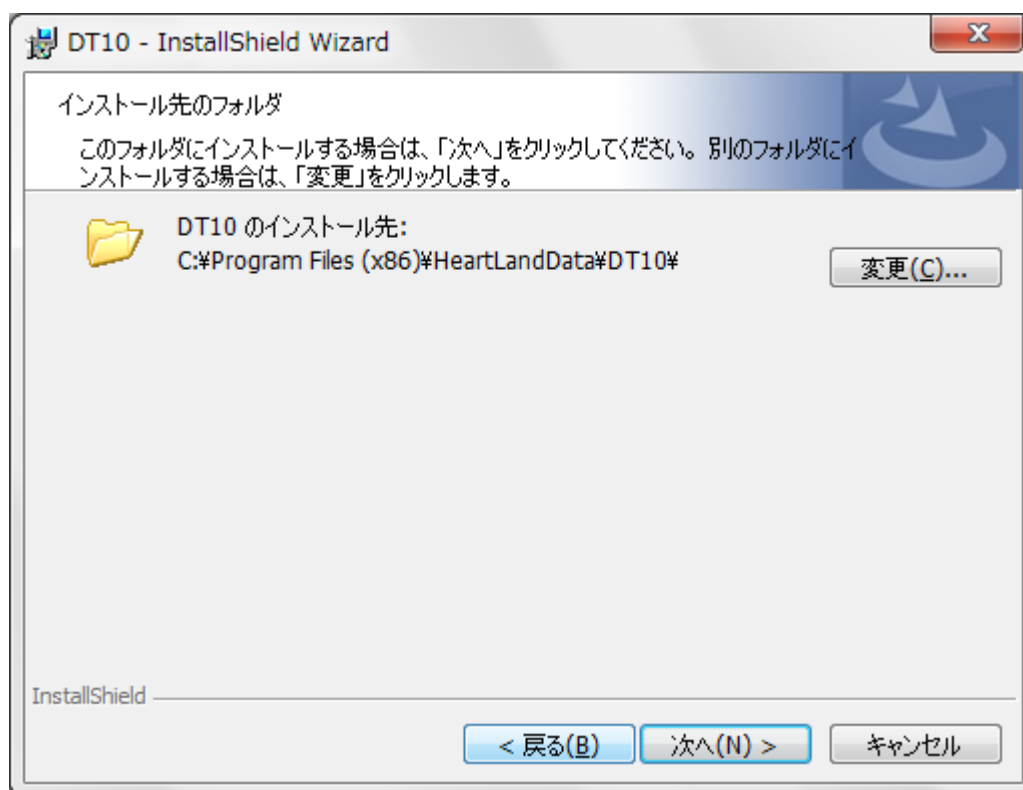
「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約」画面が表示されます。



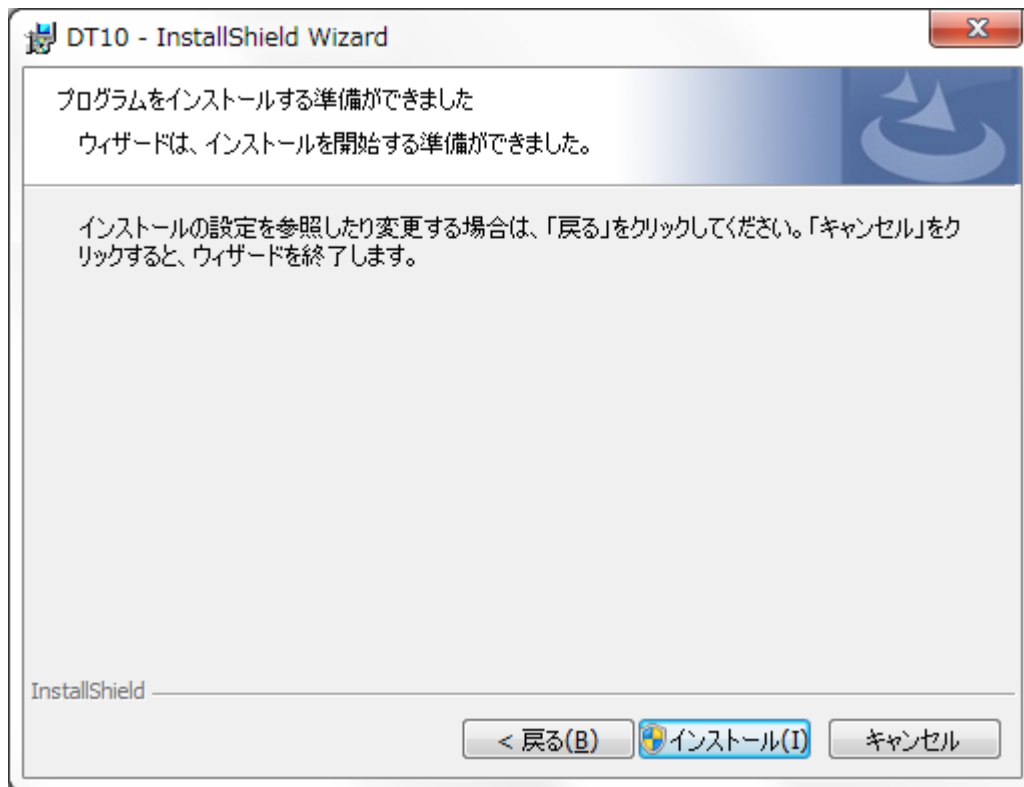
使用許諾契約書を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。

「インストール先のフォルダ」画面が表示されます。

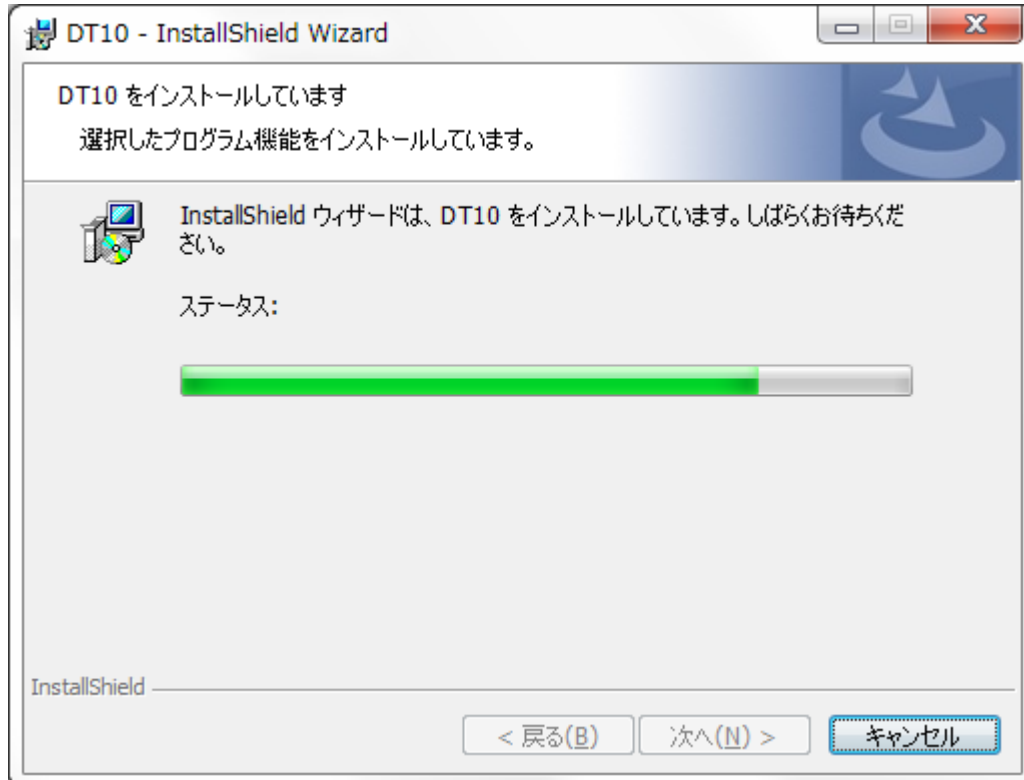


デフォルトのインストール先は、『[Program Files (x86) Path]HeartLandData\DT10』となります。[Program Files (x86) Path]はマシンに依存します(起動 OS のドライブ名等)。指定フォルダを変更する場合、「変更」ボタンをクリックしてフォルダを指定してください。インストール先が決まりましたら、「次へ」をクリックします。

「インストール準備完了」画面が表示されます。



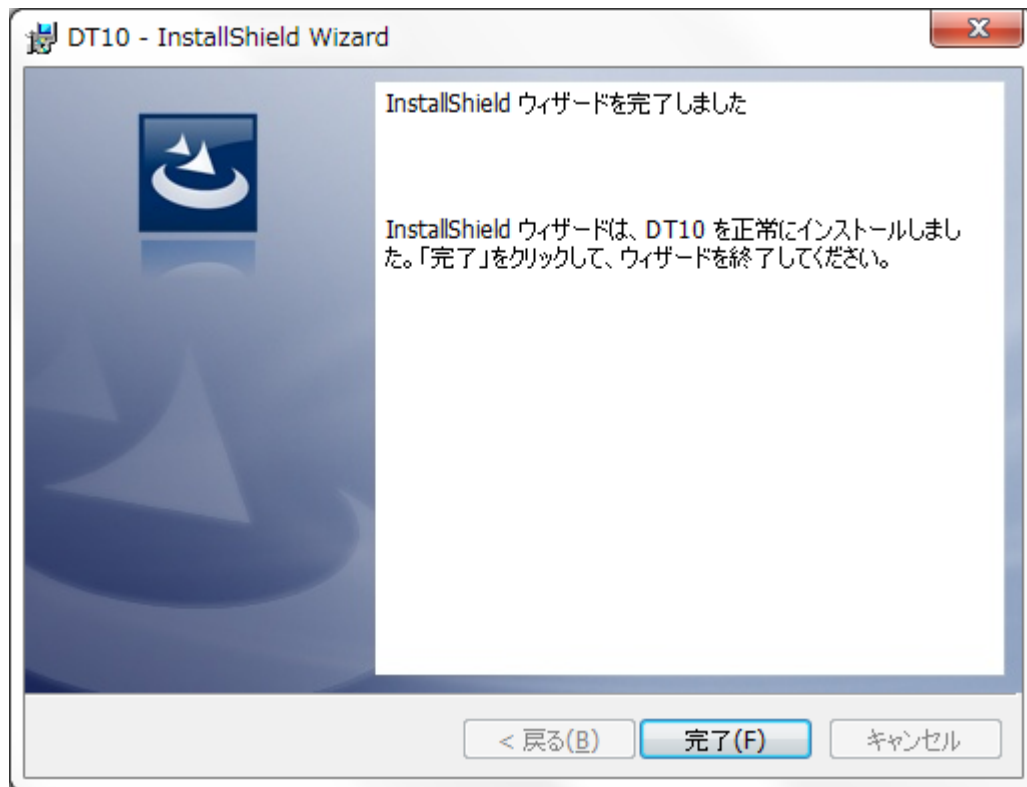
ここまでで設定した内容でインストールを開始してもよろしければ、「インストール」ボタンをクリックしてください。



インストール時間はマシンの状態などに大きく依存します。

数秒～数分かかります。

DT10 が正常にインストールされると、以下の画面が表示されます。



「完了」ボタンをクリックして、セットアップを終了してください。

1.5. DynamicTracerのUSBデバイスドライバのセットアップ(Windows7の場合)

DynamicTracer は、USB ケーブルで、マシンと接続します。

Dynamic Tracer 本体の電源を入れると、USB デバイスドライバのインストールが始まります。



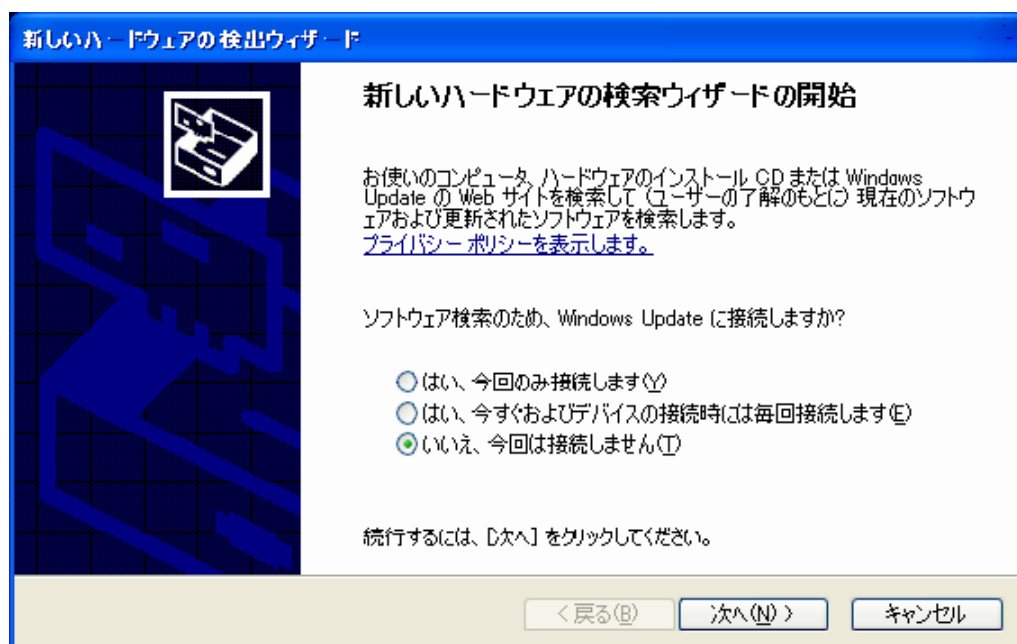
注意

Windows7の場合、USB デバイスドライバは自動でインストールが始まりません。

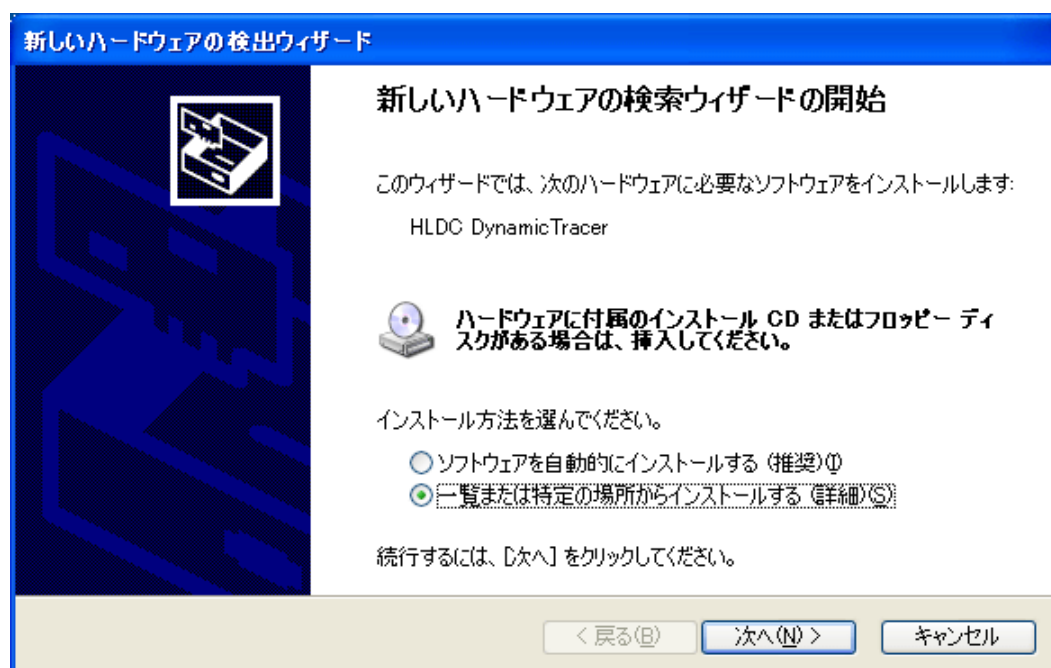
手動でインストールを行う必要があります。

詳細は[【1.7_USB デバイスドライバが自動でインストールされない】](#)をご覧ください。

「新しいハードウェアの検索」画面が表示されます。

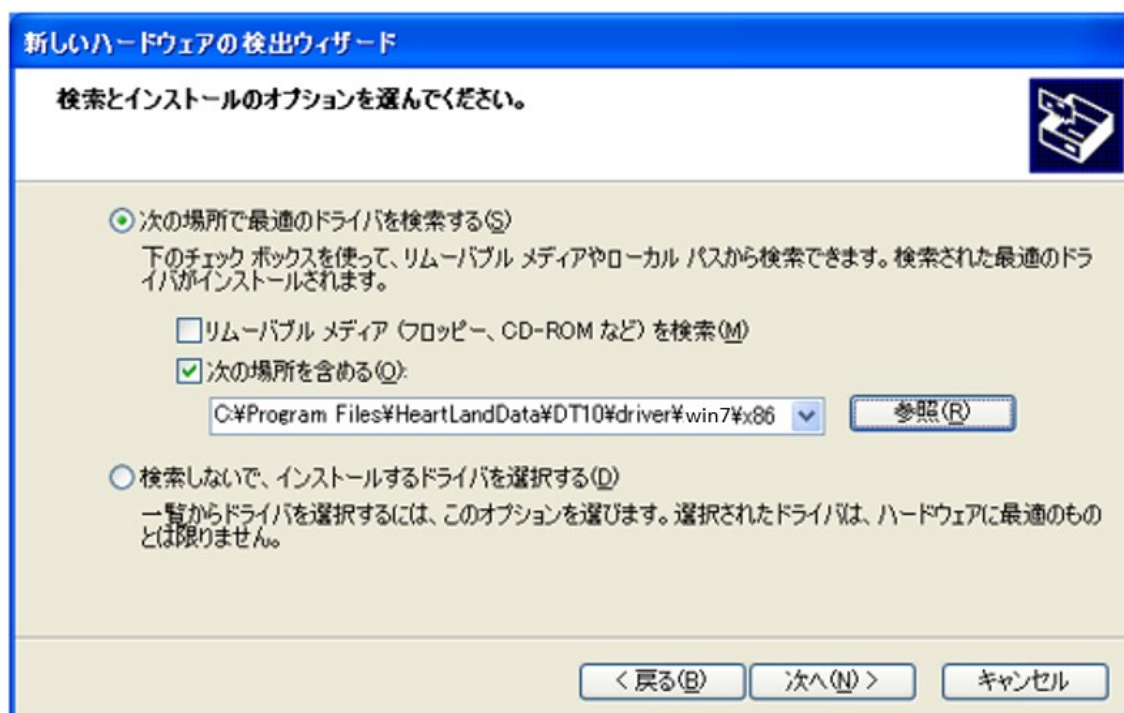


「いいえ、今回は接続しません」ラジオボタンを選択し、「次へ」をクリックします。



「インストール方法選択」画面が表示されますので、「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択して、「次へ」をクリックします。

「検索オプション」画面が表示されます。



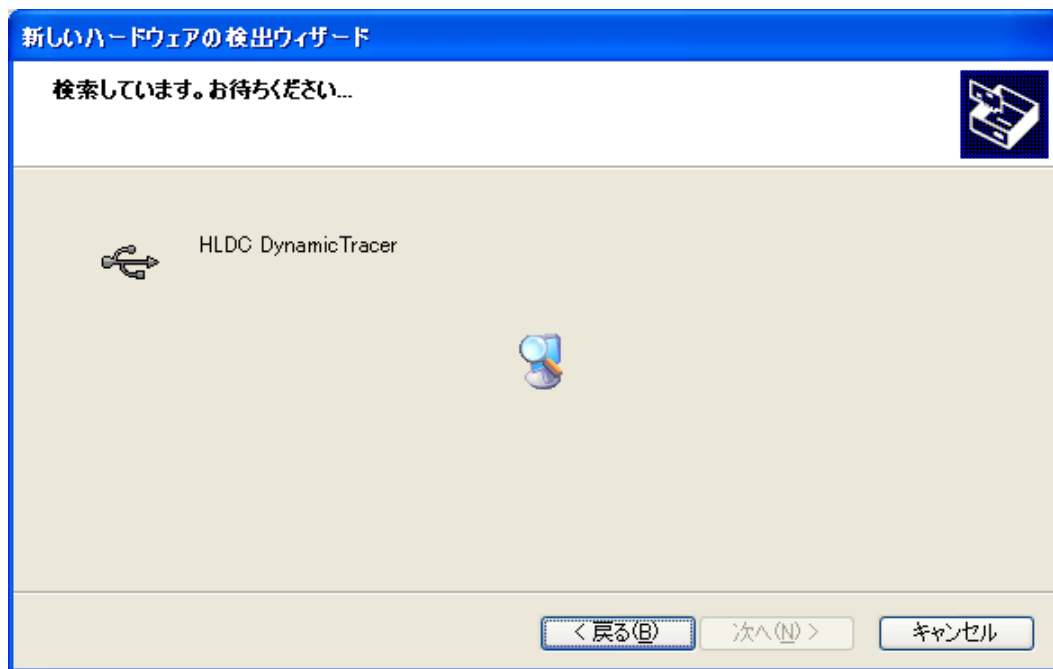
「次の場所で最適なドライバを検索する」ラジオボタンを選択し、「次の場所を含める」にチェックを入れます。

「参照」ボタンから検索先のフォルダを指定します。

32bitOS の場合、DT10 インストールフォルダ内の「driver\win7\x86」というフォルダを指定してください。

64bitOS の場合、DT10 インストールフォルダ内の「driver\win7\x64」というフォルダを指定してください。

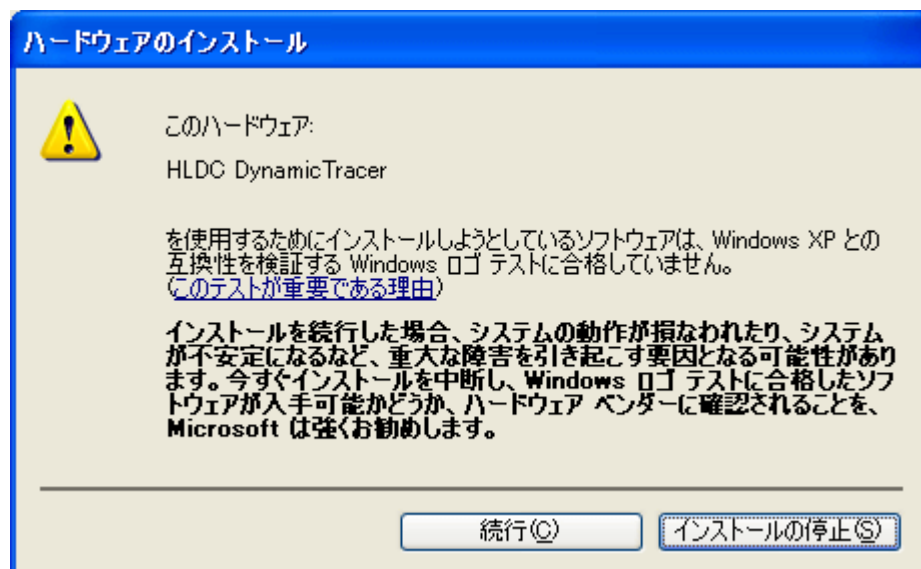
指定したら「次へ」ボタンをクリックします。



ドライバの検索が実施されます。

マシンに依って、数秒から数分かかります。

検索で見つかったドライバをインストールする確認画面が表示されます。

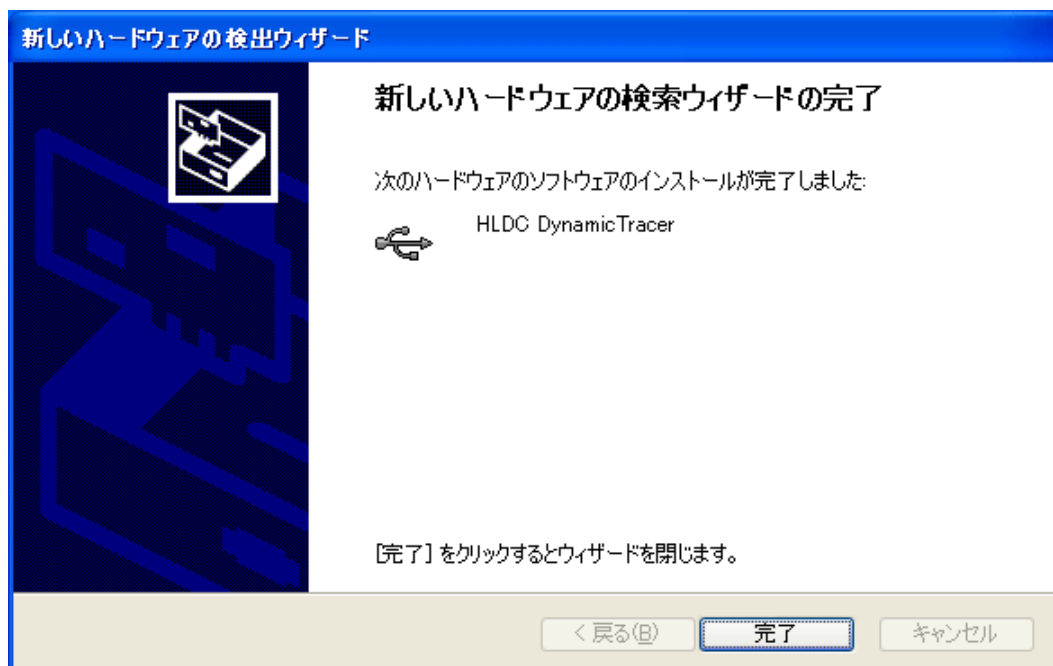


「続行」をクリックします。

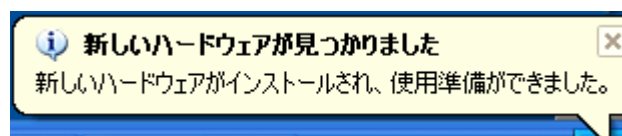


ドライバのインストールが実施されます。
マシンに依って、数秒から数分かかります。

ドライバのインストールが終了すると、「完了」画面が表示されます。



「完了」ボタンをクリックして、終了します。



この状態になると、DT10 で DynamicTracer を使用してテストレポートの取得が出来る状態になります。

一度認識された USB デバイスドライバは、一度 USB ポートから引き抜いて、再び接続しても、上記処理は実施されません。
しかし、接続するポートを、認識処理を実行したポートとは違うポートに変えた場合、再度上記処理が実施されます。

1.6. DynamicTracerのUSBドライバのセットアップ(Windows8/8.1,Windows10の場合)

DynamicTracer は、USB ケーブルで、マシンと接続します。

DynamicTracer の電源を入れると、Windows Update を経由して USB デバイスドライバが自動でインストールされます。



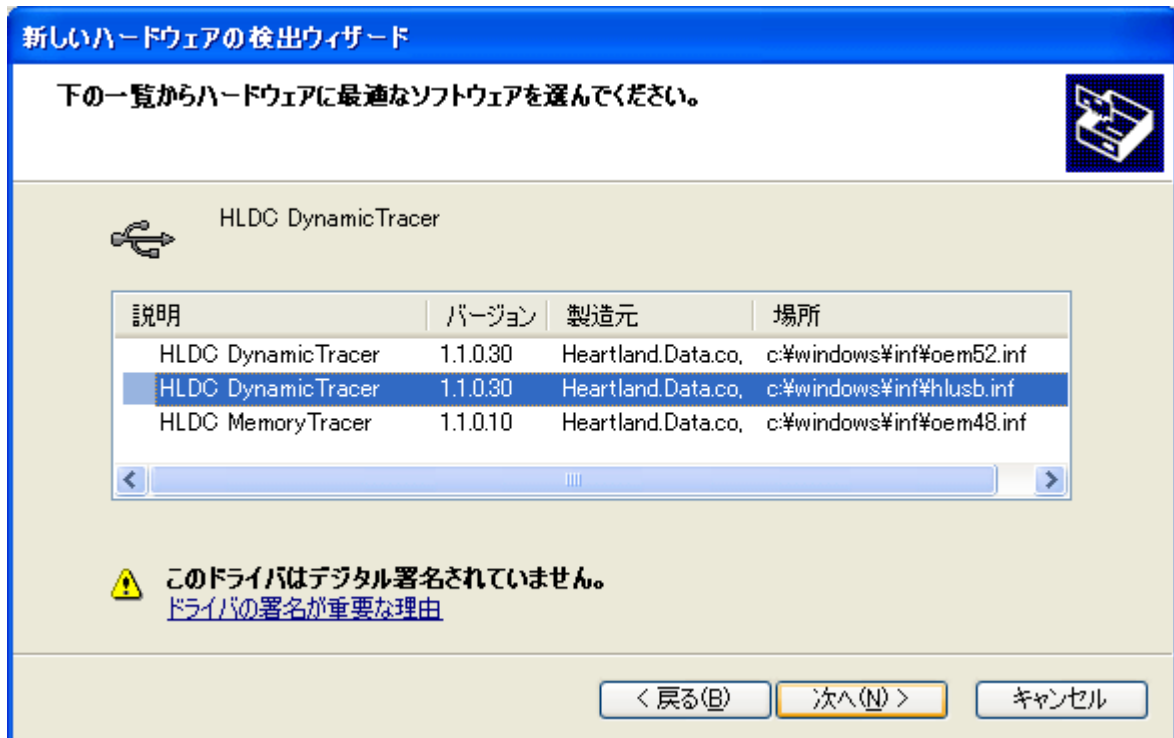
注意

Windows8/8.1, Windows10 の場合、ネットがつながっていない状態、または Windows update から自動インストールを行わない設定になっている場合は、手動でインストールを行う必要があります。詳細は[【1.7.USB デバイスドライバが自動でインストールされない】](#)をご覧ください。

1.7.DT10のインストールに関するトラブルシューティング

《 DynamicTracer の USB デバイスドライバのセットアップ時の注意点 》

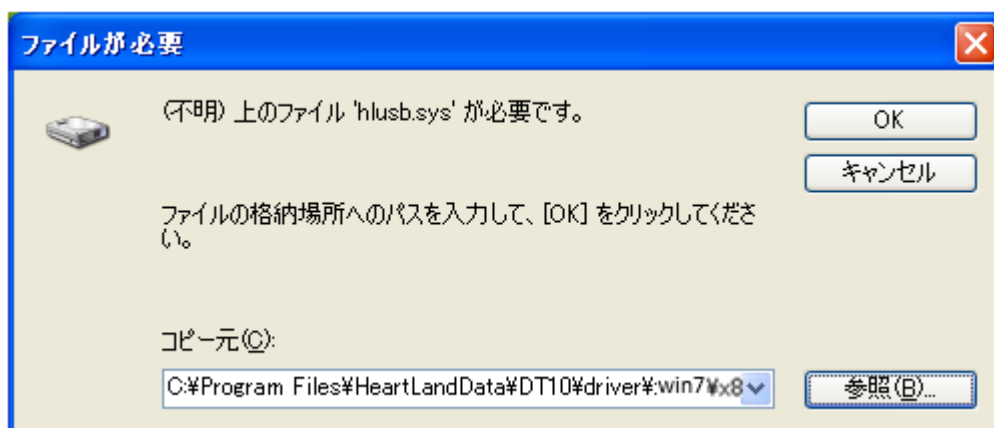
既に、DynamicTracer の USB デバイスドライバのセットアップが済んでいる状態で、再びドライバのセットアップが発生した場合、ドライバの検索時に以下のような画面が表示される場合があります。



表示される内容は、マシンの状態に依存します。

この画面が表示された場合、「～hbusb.inf」(Windows8/8.1,Windows10 の場合は「～cyusb.inf」)を選択してください。

ドライバのインストール実行中、以下のような画面が表示される場合があります。



「参照」ボタンから DT10 インストールフォルダ内の driver フォルダで、各 OS のフォルダを指定してください。

≪ Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable インストールに失敗する。 ≫

DT10 アプリケーションのセットアップ前にエラーになってしまう、又は DT10 アプリケーションを起動した際に、エラーが発生する場合、「Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable」のインストールに失敗している可能性があります。

直接「Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable」のインストーラーを起動して実行してください。

インストーラーは、「ISSetupPrerequisites¥vcredist_x86.exe」になります。

上記が動作しない場合、お手元にある vcredist_x86.exe に異常が有る可能性があります。

下記 URL より、「Microsoft Visual 2017 の Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ」をダウンロードして、実行を試みてください。

<https://visualstudio.microsoft.com/ja/vs/older-downloads/>

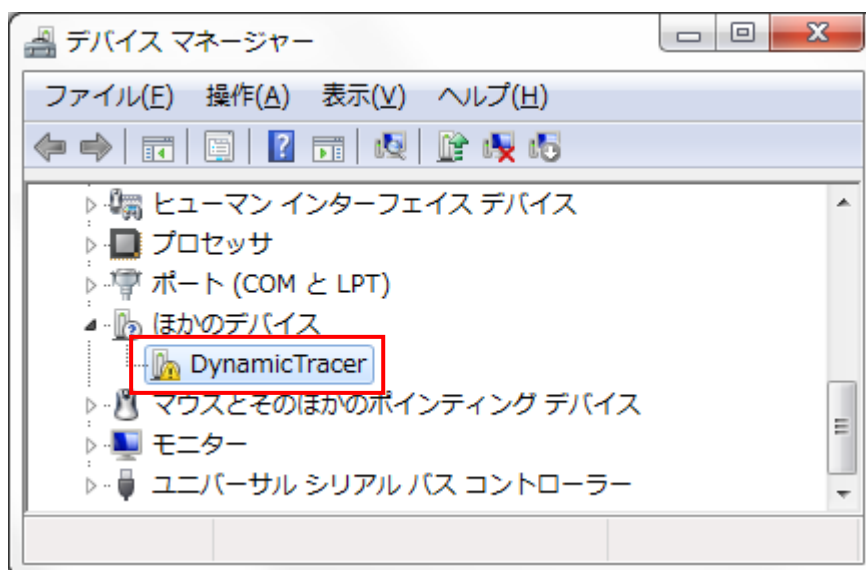
≪ USB デバイスドライバが自動でインストールされない。 ≫

Windows7 の場合、DynamicTracer を接続し電源を入れても、USB デバイスドライバは自動でインストールされません。

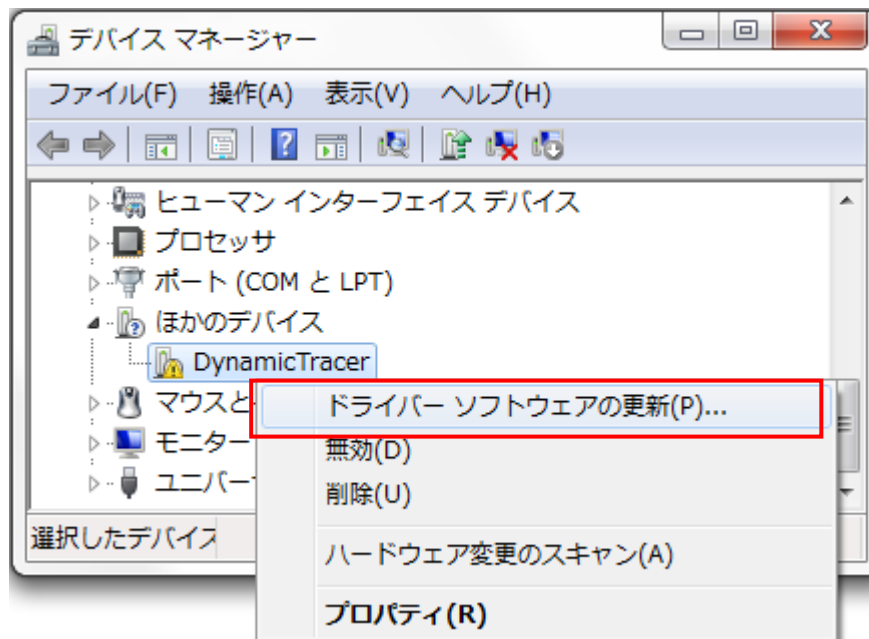
手動でインストールする必要があります。

手動インストール方法は以下の通りです。

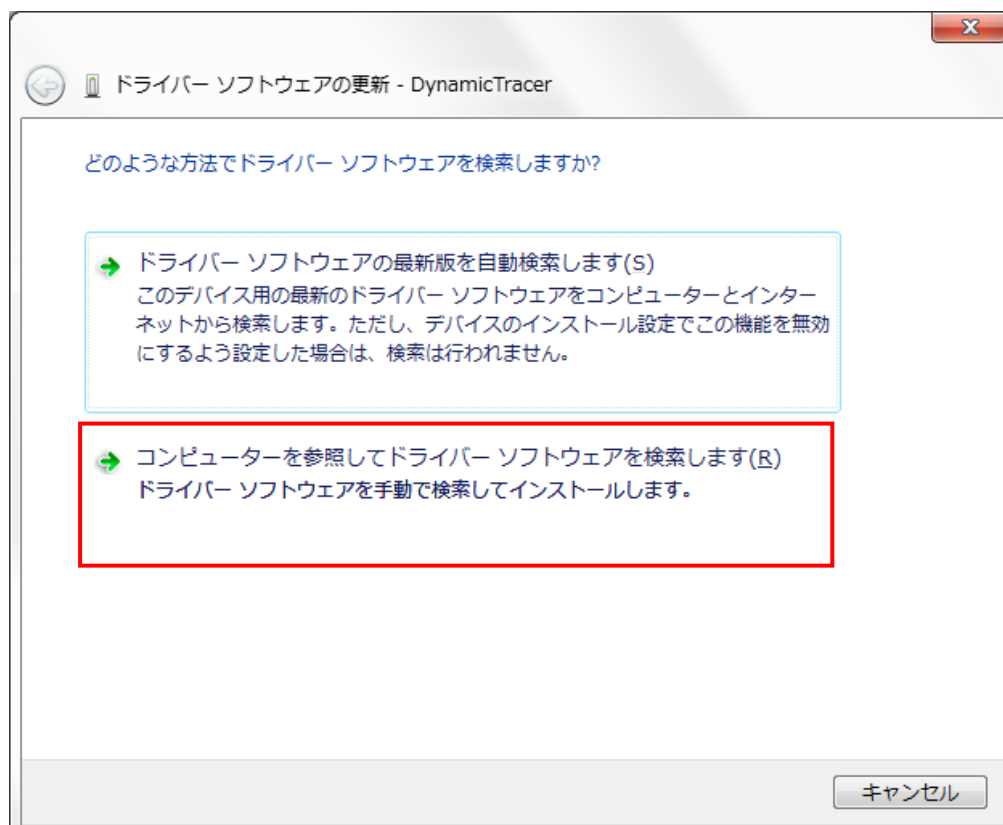
1. Windows のコントロールパネルから [デバイスマネージャー]を開きます。
2. デバイスマネージャーで、「DynamicTracer」のデバイスを見つけます。



3. 「DynamicTracer」のデバイスを右クリックし、表示されたメニューから「ドライバーソフトウェアの更新」をクリックします。



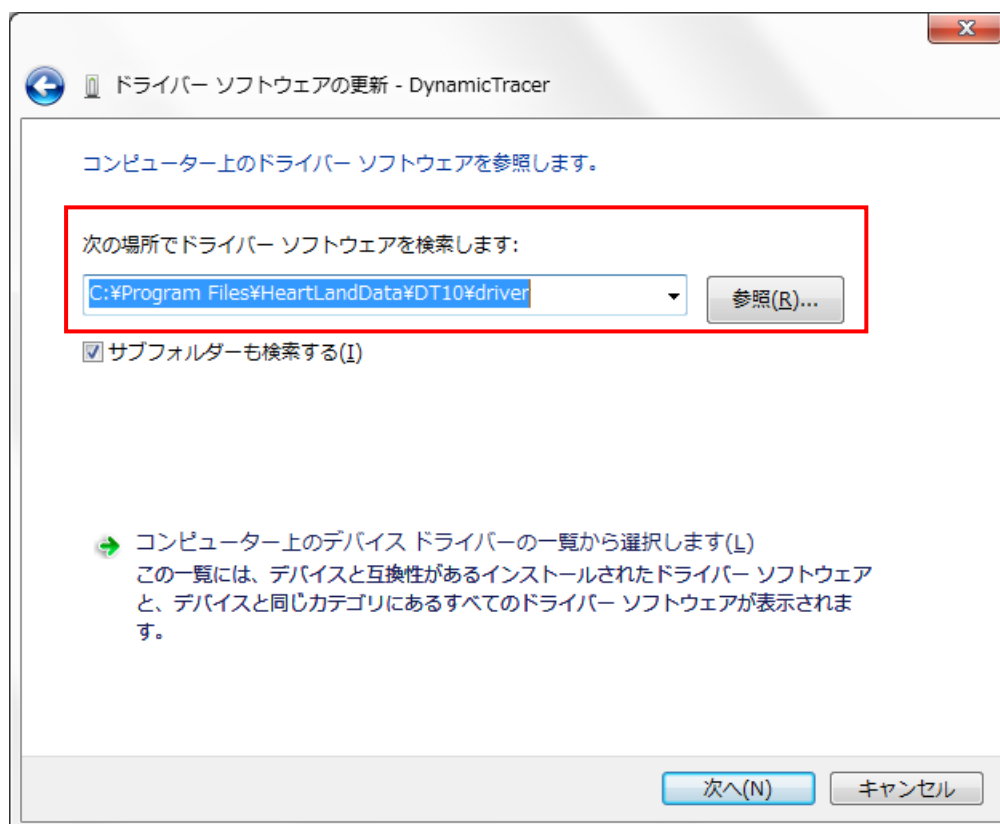
4. ドライバーソフトウェアの更新ダイアログで、「コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択します。



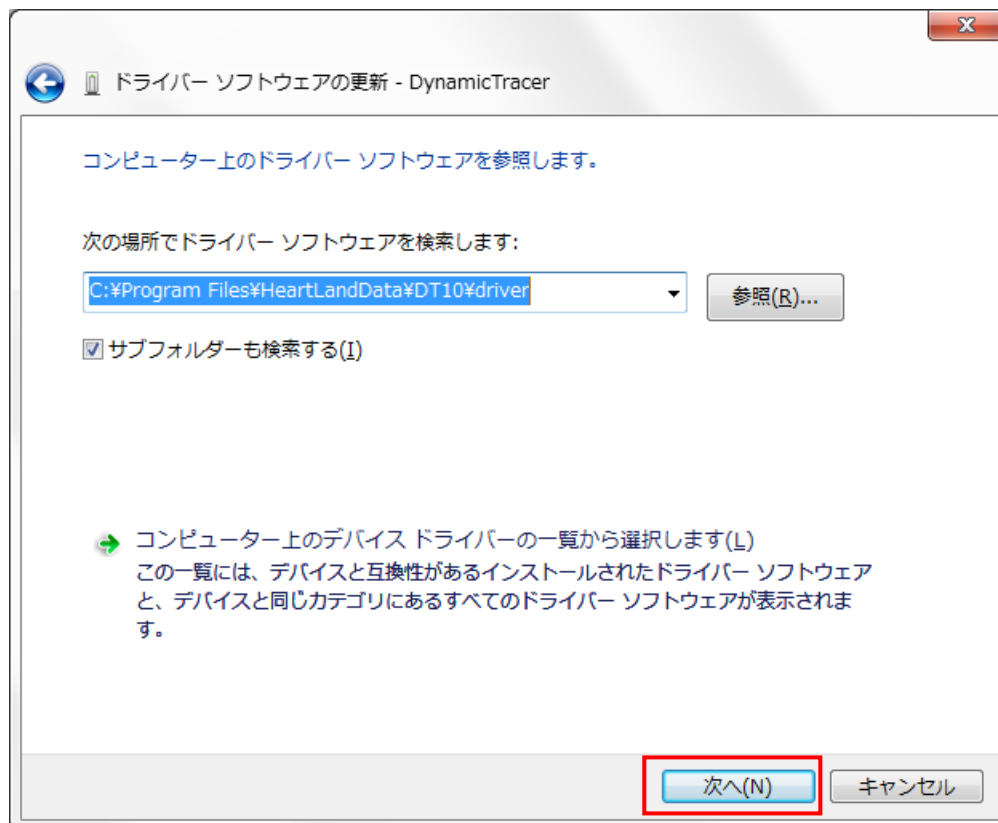
5. 「参照」ボタンから、検索先のフォルダとして、DT10 インストールフォルダ内の「driver」フォルダを指定します。

指定場所は以下になります。

Windows7 (32bit)	: C:\Program Files\HeartLandData\DT10\driver\win7\x86
Windows7 (64bit)	: C:\Program Files (x86)\HeartLandData\DT10\driver\win7\x64
Windows8(32bit)	: C:\Program Files\HeartLandData\DT10\driver\win8\x86
Windows8(64bit)	: C:\Program Files (x86)\HeartLandData\DT10\driver\win8\x64
Windows8.1(32bit)	: C:\Program Files\HeartLandData\DT10\driver\win8.1\x86
Windows8.1(64bit)	: C:\Program Files (x86)\HeartLandData\DT10\driver\win8.1\x64
Windows10(32bit)	: C:\Program Files\HeartLandData\DT10\driver\win10\x86
Windows10(64bit)	: C:\Program Files (x86)\HeartLandData\DT10\driver\win10\x64

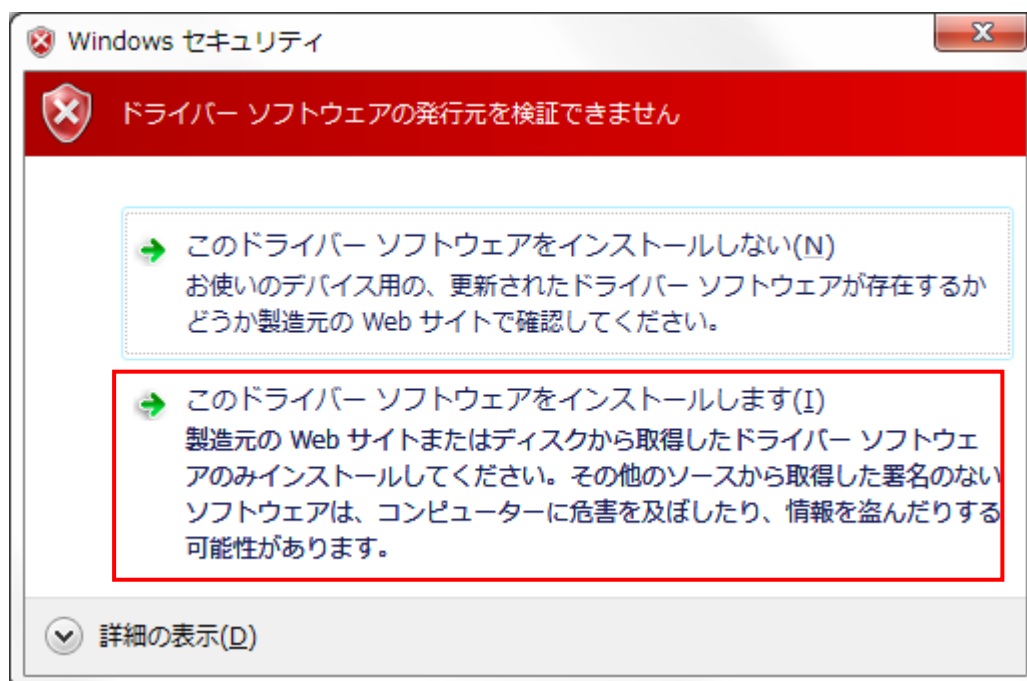


6. 「次へ」をクリックします。

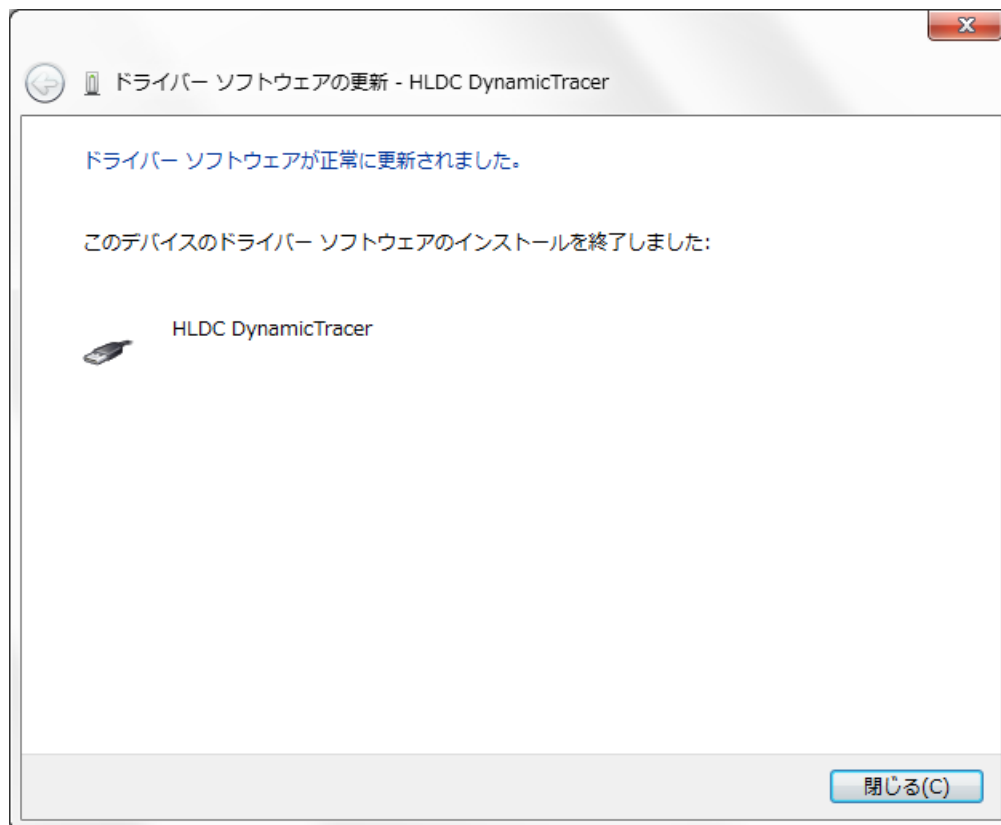


7. USB ドライバのインストールが開始されます。

8. 以下警告が表示されたら、「このドライバーソフトウェアをインストールします」を選択します。



9. ドライバのインストールが終了すると、以下の画面が表示されます。



10. 「閉じる」をクリックして、終了します。

◀ それでも動かない時 ▶

インストールするマシンを変えて動作できないかをご確認ください。

それでも動作しない場合、弊社サポートまでご連絡ください。

ハートランド・データ株式会社

ユーザーサポート担当

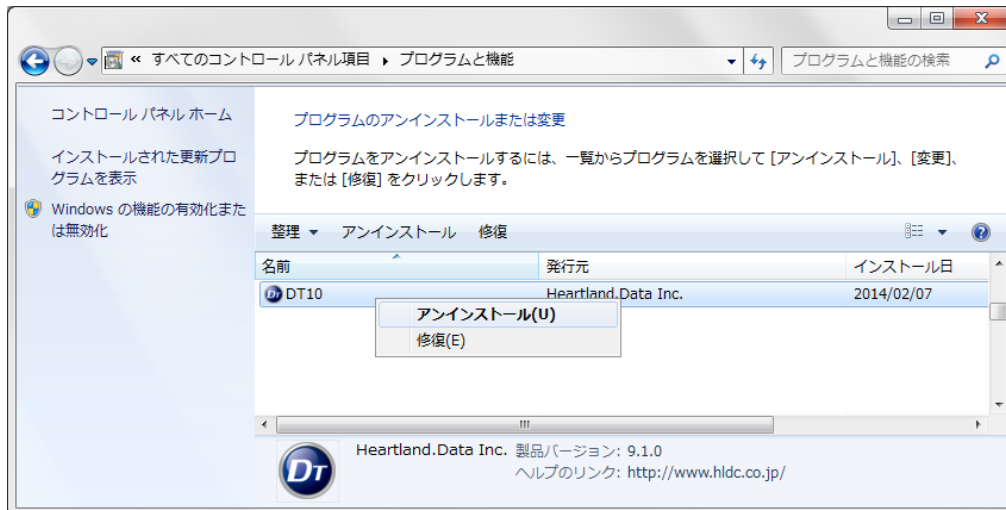
E-mail : user@hldc.co.jp

1.8. DT10のアンインストール

1.8.1. 「プログラムの追加と削除」からのアンインストール

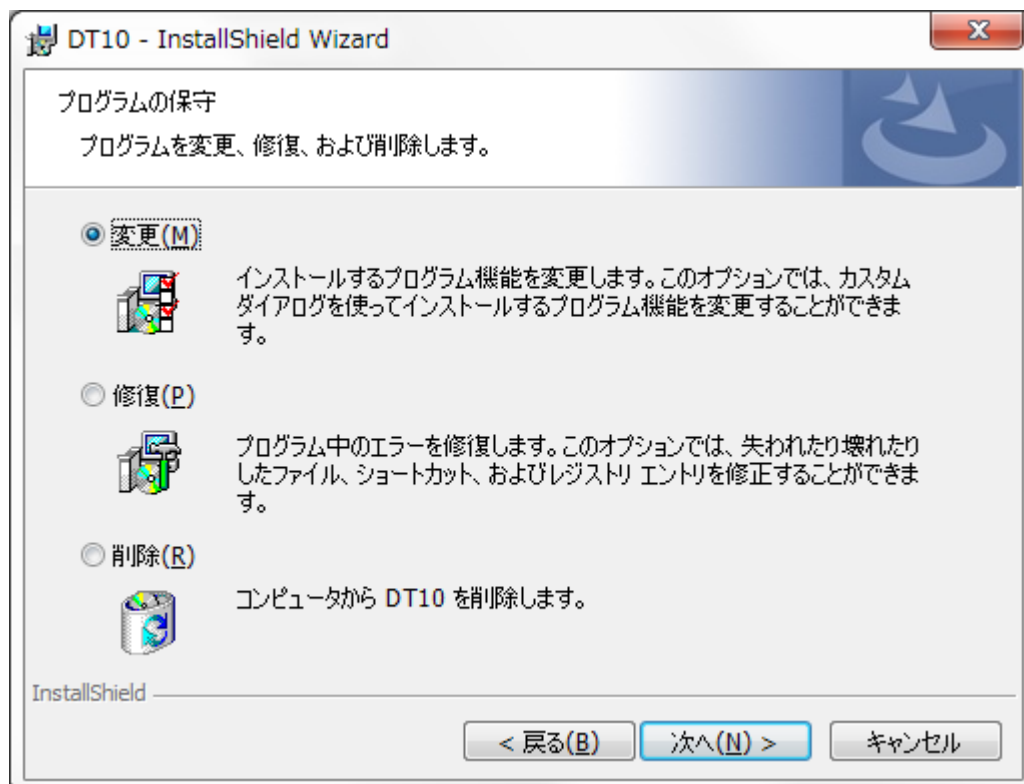
「コントロール」→「プログラムの追加と削除」より、「DT10」を選択し「削除」してください。

Ver.1.52 までの DT10 アプリケーションをアンインストールする場合、こちらの方法を使用してください。



1.8.2. 「setup.exe」からアンインストール

セットアップ時に使用した「setup.exe」を再度実行すると、インストール済みの DT10 をアンインストールする事が可能です。

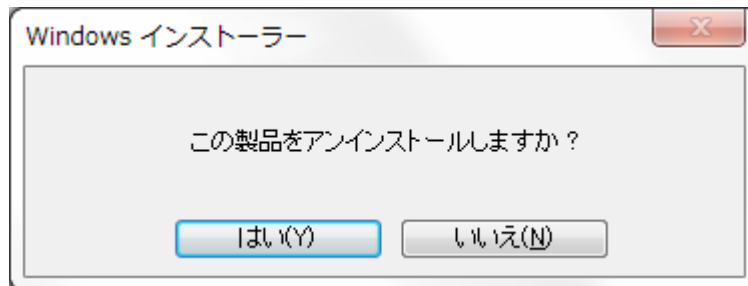


「プログラムの保守」画面が表示されたら、「削除」を選択して、処理を続行してください。

1.8.3. 「DT10 Uninstaller」からアンインストール

【プログラムメニュー→DT10→Uninstall】でアンインストーラーを起動します。

アンインストーラーを実行すると、インストール済みの DT10 をアンインストールする事が可能です。



「Windows インストーラー」が起動したら、「はい」を選択して、処理を続行してください。

2. USB ドングルライセンスのセットアップ

2.1. USB ドングルライセンスのセットアップ

USB ドングルをご使用の場合、DT10 を使用するマシンに USB ドングルを認識させる必要が有ります。



注意

Windows のリモートデスクトップ接続などターミナルサービスの接続を経由して使用するには、リモートデスクトップに対応した有償の USB ドングルが必要です。
ライセンス変更・購入についてのお問い合わせは担当営業までご連絡ください。

2.1.1. ランタイムのインストール

最新の RTE(ランタイム)をインストールしておくことで、WEB アプリにて、USB ドングルのライセンス有効期限やその他設定内容を確認できるようになります。

1. DT10 を使用するマシンから、USB ドングルを抜いてください。
2. 弊社 HP のサポートページの「アプリダウンロード」ページから最新の RTE をダウンロードします。

※サポートページの閲覧やダウンロードには、ユーザ ID とパスワードが必要です。

<URL>

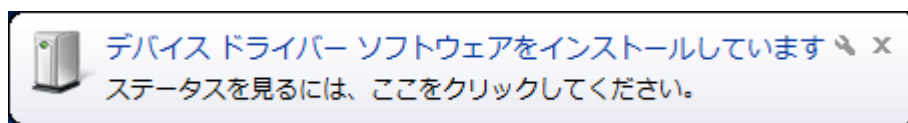
<http://hlcd.co.jp/support/dt10-support/dt10-download/dt10-app-download/>

3. DT10 を使用するマシンに、RTE をインストールします。
ダウンロードした圧縮ファイルを解凍して、「HASPUserSetup.exe」を実行します。
4. インストール後は、必ずマシンを再起動してください。

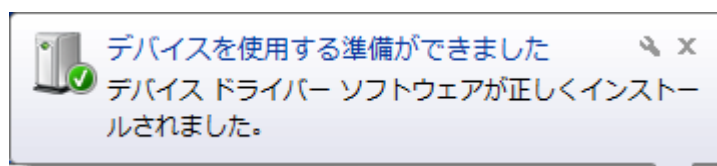
2.1.2. USB ドングルをマシンに接続する

DT10 アプリケーションをインストールしたマシンに、USB ドングルを接続します。

マシンに USB ドングルを接続すると、自動的にプラグアンドプレイが実施されます。



以下のメッセージが表示されるまで、しばらく待ちます。



この状態になると、接続している USB ドングルの LED が点灯します。

一度認識された USB ドングルは、一度 USB ポートから引き抜いて、再び接続しても、上記処理は実施されません。

しかし、接続するポートを、認識処理を実行したポートとは違うポートに変えた場合、再度上記処理が実施されます。

2.1.3. ライセンシングの確認

USB ドングルを接続したマシンで DT10 アプリケーションを起動します。

正常にライセンスが動作している場合、スプラッシュ画面の右上に「StandardEdition」と表示されます。

ライセンスが無効、認識できない状態では、「FreeEdition」として起動します。



もし Standard Edition で起動できない場合は、[【4.3 USB ドングルライセンスに関するトラブルシューティング】](#)を確認ください。

2.2. USB ドングルライセンスの更新

2.2.1. V2Cファイルの更新

USB ドングルライセンスを更新する場合、弊社から V2C ファイル(ライセンス更新データファイル)を入手してください。

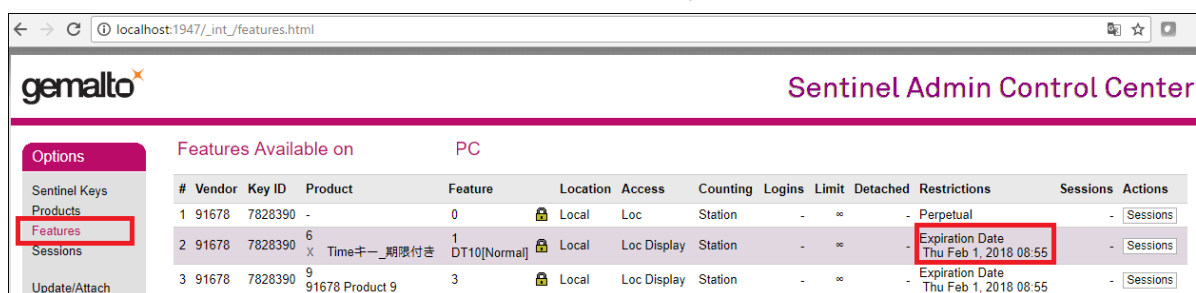
専用のウェブアプリ Sentinel Admin Control Center (以下、ACC)で更新作業を行います。

1. マシンに USB ドングルを接続します。
2. マシンのブラウザを開いて、以下の URL にアクセスします。

<URL>

<http://localhost:1947/>

3. ACC Control Center (ACC)アプリが開いたら、画面の左側にある「Options」の「Features」を選択します。

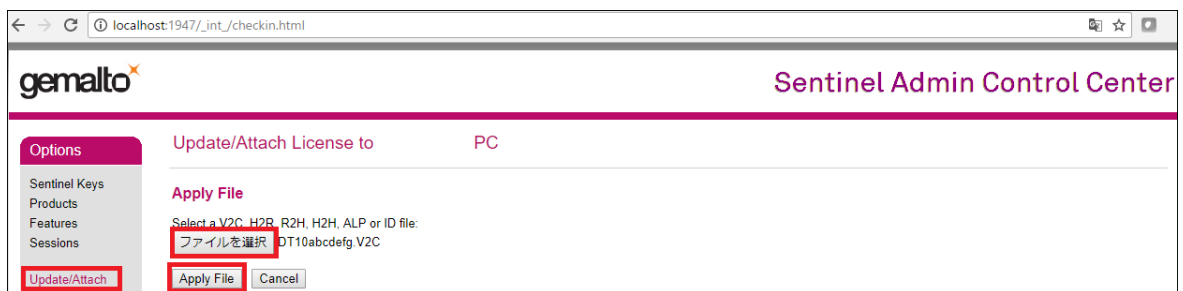


「Features」項目が、“0以外”の行の「Restrictions」項目では

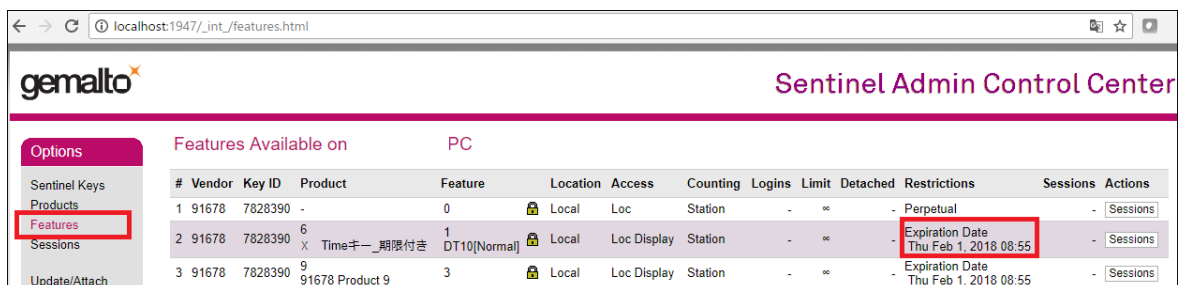
USB ドングルの期限を確認できます。(期限切れの場合は“Expired”と表示されます)

4. 「Update/Attach」を選択して、「ファイルを選択」から、V2C ファイル(*.V2C)を選択します。

「Apply File」ボタンをクリックし、更新が完了すると、「Your update was applied successfully.」というメッセージが表示されます。



5. 再度、「Features」を選択して、USB ドングルの有効期限が更新されたことを確認してください。



2.2.2. ライセンシングの確認

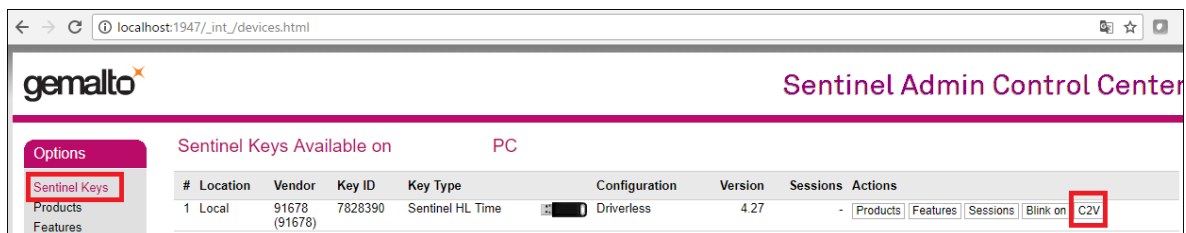
更新後にライセンスが有効になっていることを確認してください。【[4.1.3 ライセンシングの確認](#)】を参考にしてください。

2.2.3. C2Vファイルの生成

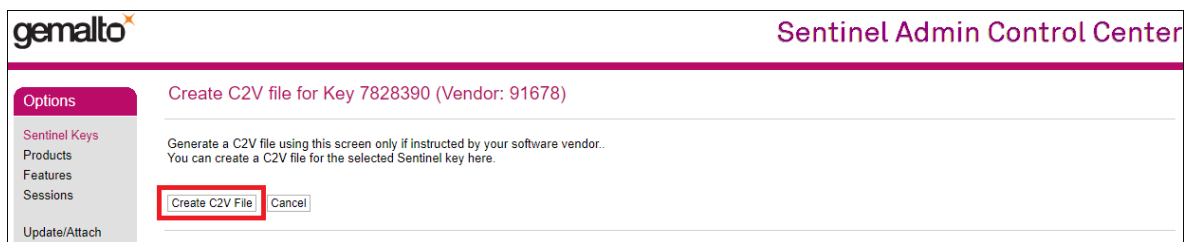
C2V ファイルは更新完了情報ファイルであり、次回のライセンス更新に必要となります。

ライセンス更新後には、必ず C2V ファイルを生成して、弊社まで送付をお願いします。

1. ACC の画面の左側にある「Option」の「Sentinel Keys」して、「Action」の **C2V** をクリックします。



2. 「Download C2V file」を選択して、C2V ファイルを生成します。



3. 生成した C2V ファイルをメール添付で送付してください。

宛先 : 営業課 出荷担当 まで。

メールアドレス : license@hldc.co.jp

2.3. USB ドングルライセンスに関するトラブルシューティング

◀ ACC が表示されない。USB ドングルを認識しない。 ▶

以下のいずれかの方法で対処してください。

- ・最新 RTE を弊社サポートからダウンロードして、インストールしてください。

インストール後は、再度 ACC にアクセスするか、DT10 アプリを起動して、ライセンスが有効であることを確認してください。

＜ダウンロードページ URL＞

<http://hldc.co.jp/support/dt10-support/dt10-download/dt10-app-download/>

- ・アプリのインストールフォルダ内に、無料トライアルでご使用になった古いライセンスファイル(.lic ファイル)が保存されている場合は、ライセンスファイルを削除してください。

- ・USB ドングルの別の USB ポートに接続して、問題現象が発生するかご確認ください。

- ・ファイアウォール、アンチウィルスソフト等のセキュリティ製品の設定をオフにいただいた場合でも問題現象が発生するかご確認ください。

- ・それでも解決しない場合、弊社技術サポートまでお問い合わせください。

お問い合わせの際には、ACC で出力できる診断ファイル (diagnostics.html) を添付していただけると助かります。

＜ 診断ファイル生成手順 ＞

- ・USB ドングルを PC に接続します。
- ・こちらの URL にアクセスします。 <http://localhost:1947>
- ・[Options]の中にある[Diagnosics]を選択して、下にある[Generate Report]を選択します。
- ・[Admin Cotrol Center Diagnostics] が表示されたら、ページを保存します。

3. 変更履歴

日付	バージョン	変更内容(□の数値は該当項目番号と頁を指す)
2018.04.27	Ver.1.0.0	インストールマニュアルの刷新。
2019.06.24	Ver.1.0.1	インストール手順を更新しました。 サポートプラットフォームを更新しました。
2021.04.23	Ver.1.0.2	フローティングライセンスのセットアップを更新しました。
2021.05.21	Ver.1.0.3	フローティングライセンスに関するトラブルシューティングを更新しました。
2025.10.30	Ver.1.0.4	ノードロックライセンスとフローティングライセンスの項を削除しました。



〒326-0338 栃木県足利市福居町 361

TEL: 0284-22-8791 / FAX: 0284-22-8792

URL: <http://www.hldc.co.jp>